３年生のみなさんへ

３年生の社会科の学習では，わたしたちが住んでいる門川町について次のような学習をします。

○　自分たちの住んでいる身近な地域や町の様子は，場所によってどのようなちがいがあるでしょう。

○　地域の人びとの生産活動やはんばい活動には，どんな願いや特色があるでしょう。

○　地域社会では，安全なくらしをまもるためにどのような工夫や努力をしているでしょう。

この本は，みなさんが社会科の学習をするときの手助けになるように作ったものです。

これからの社会科の学習をどのようにすすめていったらよいかが分かるように，友だちの調べ方やその資料，写真などがたくさんのっています。

この本を友だちにして，これからの学習に役立てていってください。

社会科学習の進め方

い　か　す

①　学習問題を作ろう

写真や資料，実物を見て，ふしぎに思ったことや調べてみたいことをみつけて，学習問題をつくろう。

②　調べる計画を立てよう

何を調べるか，どうやって調べるかを整理して，調べる計画を立てよう。

し　ら　べ　る

③　調べてみよう

実際に行って調べたり，手紙や電話，メールで質問したり，インターネットや本で調べたりするなど，工夫してみよう。

④　調べたことをもとに考え，話し合おう

調べて分かったことをもとに自分の考えをまとめ，みんなと話し合おう。学習問題のこたえもまとめよう。

まとめる・いかす

⑤　分かったことや考えたことをまとめよう

ポスターや新聞，レポートなど，まとめ方を工夫して，表現し合い，学習を深めよう。

⑥　学習したことを生かしてみよう

学習したことをもとに，自分ができることに取り組んだり，もっと知りたいことを見つけて調べてみたりしてみよう。

わたしたちの門川町では，みなさんの学習の手助けをするために，「学習の仕方アドバイス」「ことば」「学習ポイント」の３つのコーナーを用意しました。みなさんが，学習を進めていくときに，役立ててみてください。

学習の仕方アドバイス のコーナーには，見学や体けんの仕方，図・写真・グラフなどの読み取り方，調べたことを表現する方法などが書いてあります。学習するときのさん考にしましょう。

ことば のコーナーには，言葉や物の意味や説明が書いてあります。よく読んで，学習に役立てましょう。

学習のポイント のコーナーには，どのような学習をすればよいかが書いてあります。ぜひ，やってみましょう。

この本での登場人物

そうまさん

はるとさん

ひまりさん

ゆなさん

だんじり

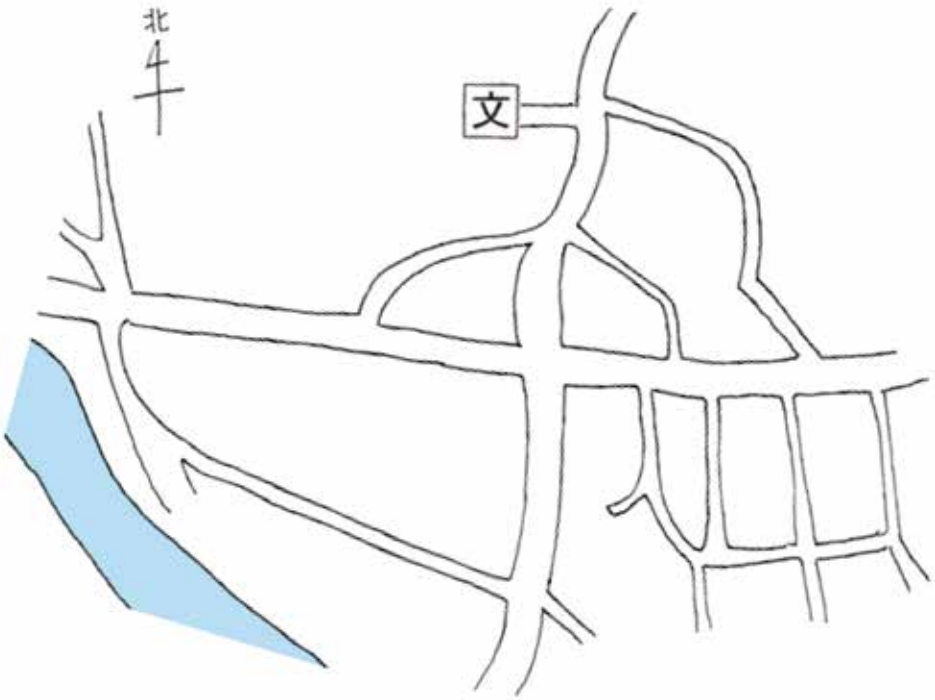
1 わたしたちのまち　みんなのまち

門川町の写真

「この写真は，みなさんの住んでいる門川町です。写真を見て気づいたことやふしぎだなあと思ったことを話し合ってみましょう。」

「わたしたちの門川町についてみんなでくわしく調べていきましょうよ。」

空から見たそうまさんたちの学校（五十鈴小学校）のまわり



1 学校のまわりの様子

学校のまわりの様子はどんな様子なのでしょうか。

■ふしぎをしょうかいしあう

・ふしぎに思ったことを，どんどんメモしておく。
・友だちにも話し，友だちもふしぎだと思ったらカードに書く。
・カードをはって，みんなに見てもらう。

◉ひまりさんたちは，学校（五十鈴小学校）のまわりの土地の様子を見ました。一人一人，気がついたことやふしぎに思ったことを発表しました。

ほかに，みんなに教えてあげたいお気に入りの場所もしょうかいし合いましょう。

あの林のむこうの
建物は，なにかしら？

方位じしんと地図の方位　方位じしんは色のついている方が北をさします。地図はふつう，北を上にして表します。

田や畑も見えるね。

◉絵地図にまとめる

絵地図にまとめてみよう。

はるとさんたちは，調べたことを白地図にかき入れました。

学校のまわりの様子がわかる地図ができあがりました。

はるとさんたちがつくった絵地図

「学校のまわりの土地は，どこにひくいところと高いところがあるかな。」

「学校のまわりの土地は，どのように使われていたかしら。」

◉絵地図のかきかた

○紙の上を北にして学校をまん中にしてかく。

○おもな道や鉄道（てつどう）・川をかく。

○公共しせつや工場などの大きな建物（たてもの）をかく。

○商店（しょうてん）や住（じゅう）たくの多いところをかく。

○田や畑（はたけ）の多いところをかく。

○色わけしてぬる。

学習（がくしゅう）のまとめ

しらべたこと

学校のまわりの様子

●土地のひくいところ
・南側（みなみがわ）
・東側（ひがしがわ）

●土地の高いところ
・北側（きたがわ）

わかったこと

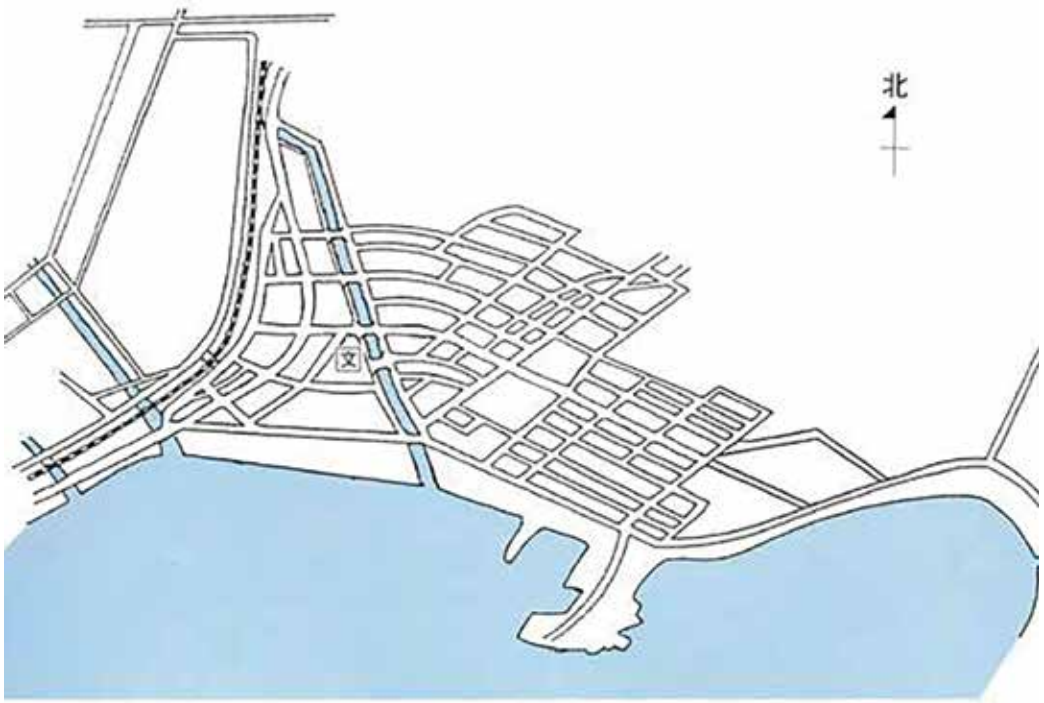
まとめ

土地のひくいところ
・田畑（たはた）につかわれている。
・むかしからの住（じゅう）たくになっている。

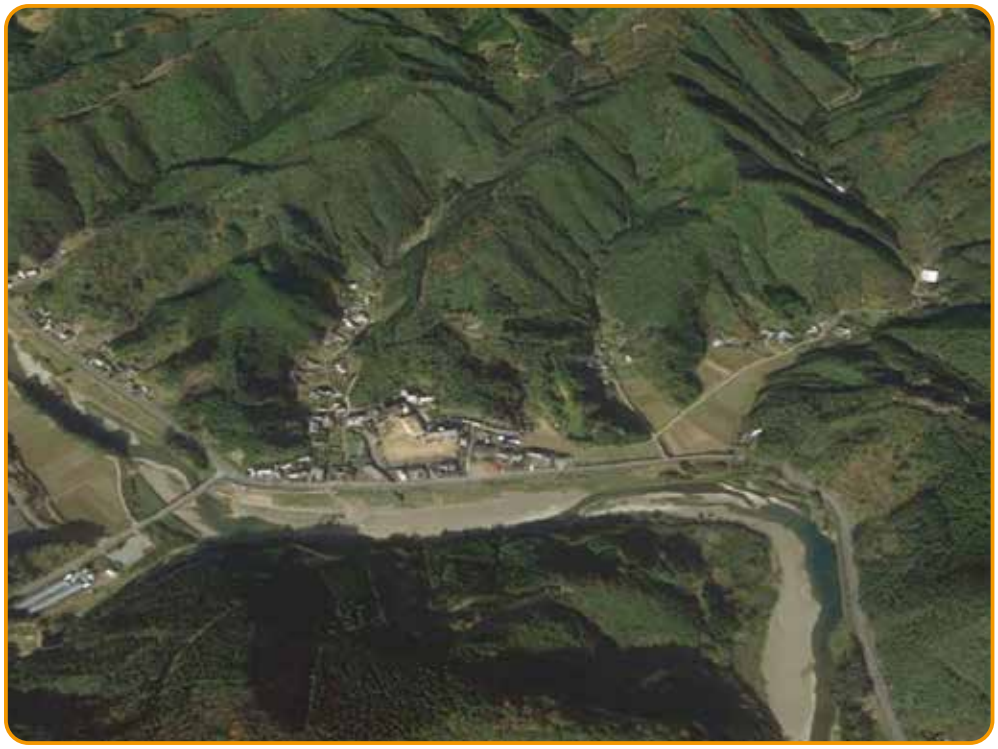
土地の高いところ
・みかん畑などにつかわれている。
・新しい住たく地になっているところもある。

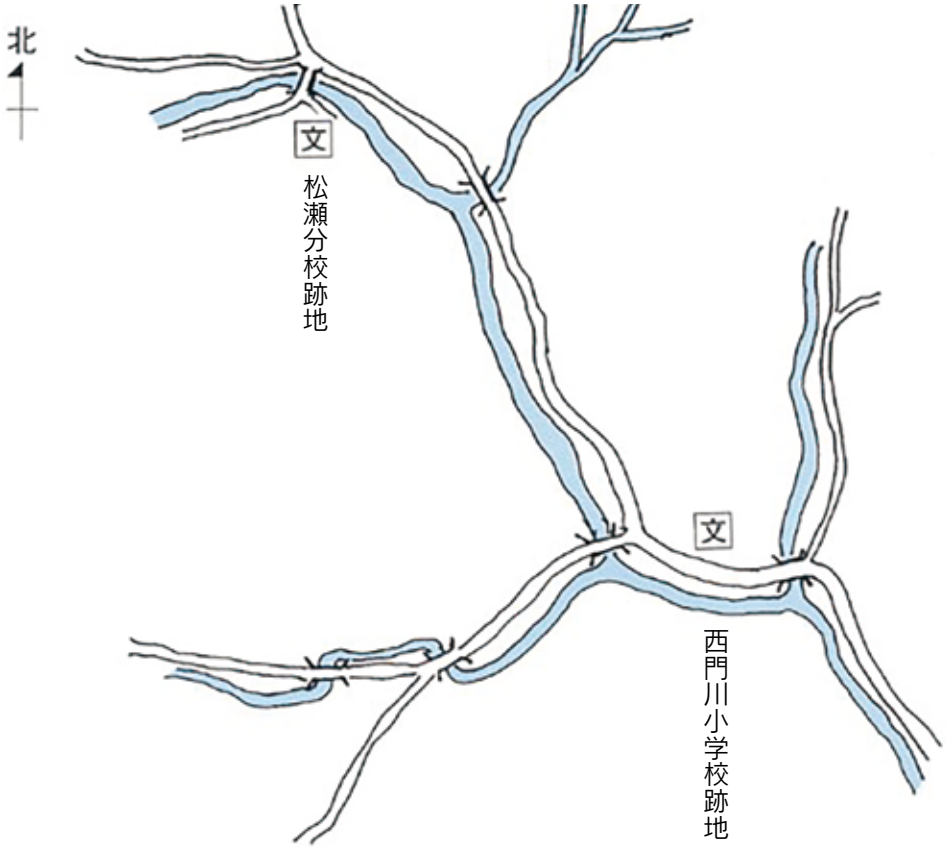
門川小学校のまわり

草川小学校のまわり

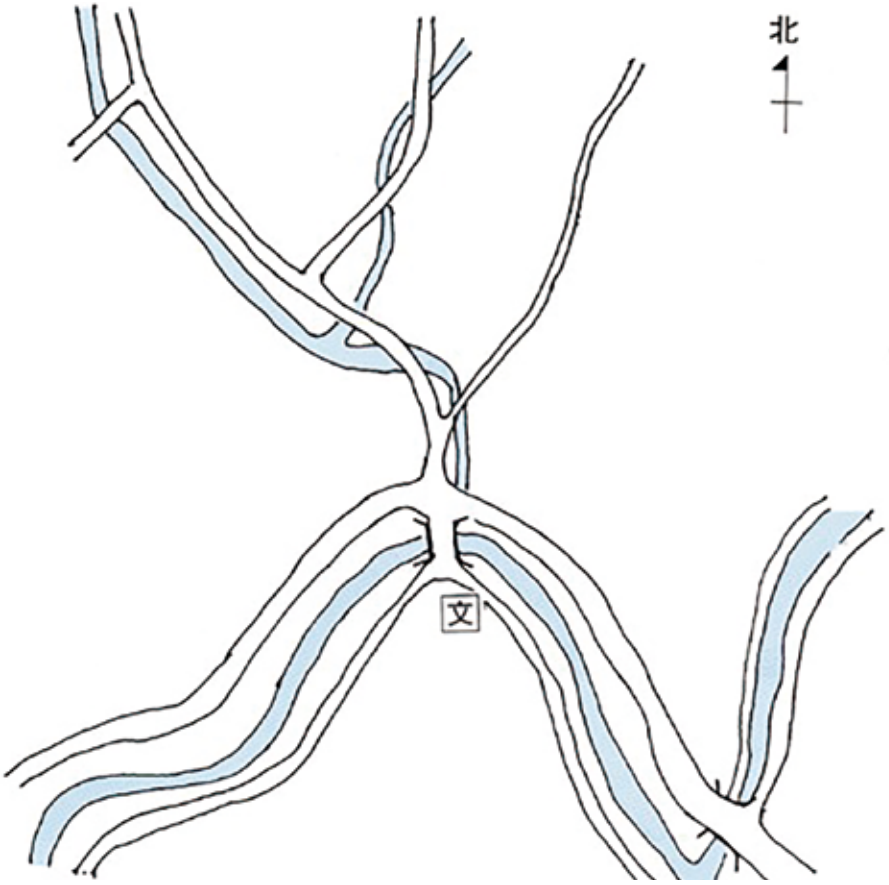


西門川小学校跡地（あとち）のまわり

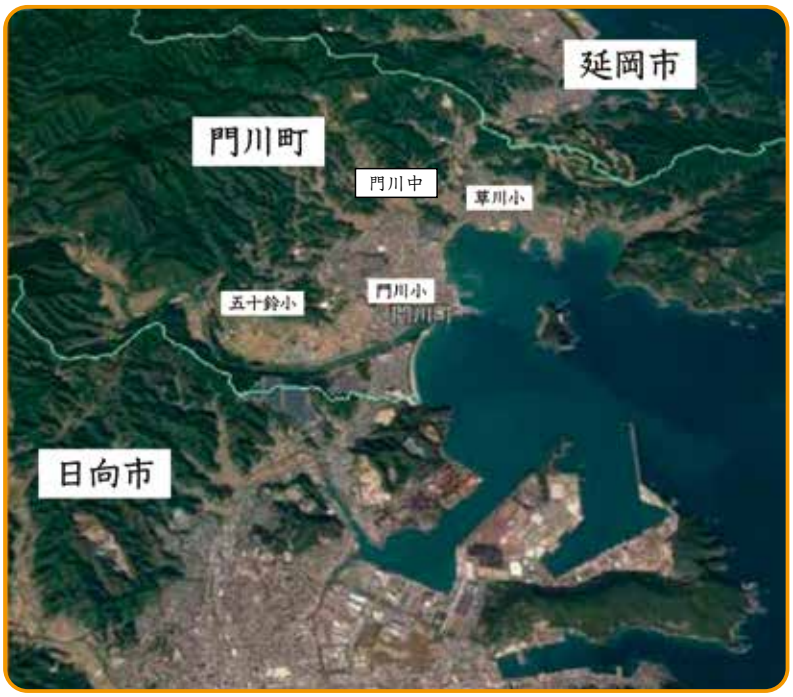




西門川小学校松瀬分校跡地のまわり



2 門川町全体の様子



町の様子

「学校のまわりって，町全体から見ると，わずかな広さね。」

「わたしのおじいちゃんは，山の方でみかんを作っているよ。」

「住(じゅう)たくや店がたくさんあるのはどこかな。」

「バスに乗って行かないと，調(しら)べられないところがあるね。」

ゆなさんたちは，バスや電車の通っているところを調べ，絵地図にまとめてみました。

町の絵地図

鉄道(てつどう)や大きな道ろの近くには工場があるね。

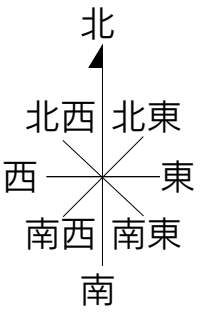
海の近くには港(みなと)や市場があるよ。

町のし設(せつ)もたくさん作られているね。

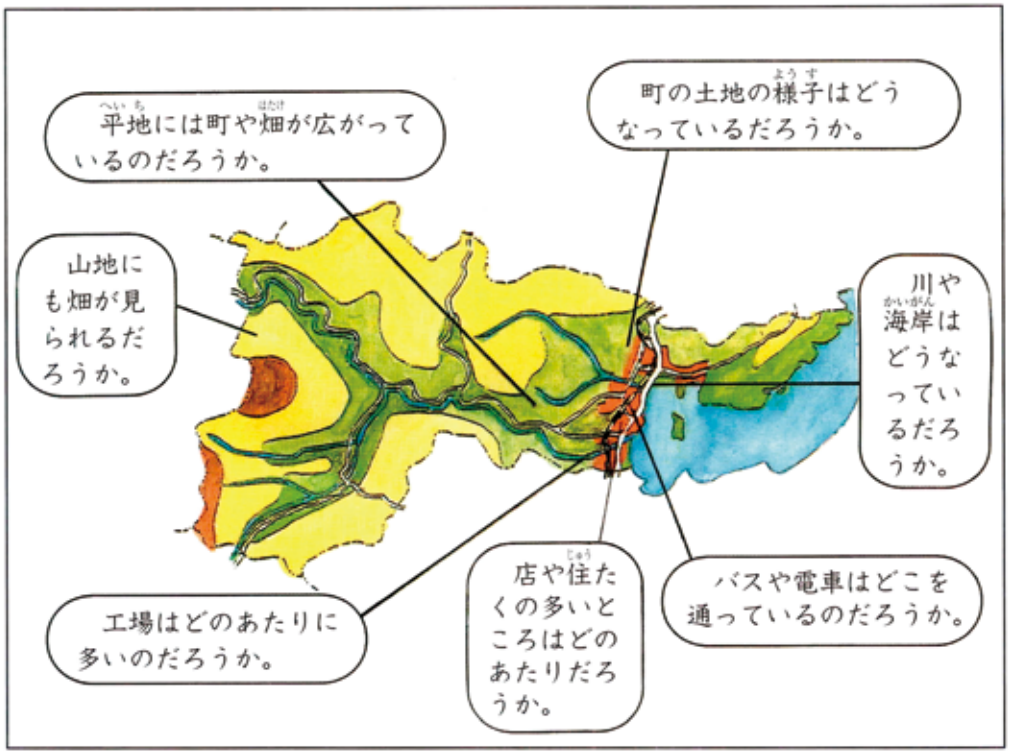
学習問題(がくしゅうもんだい)

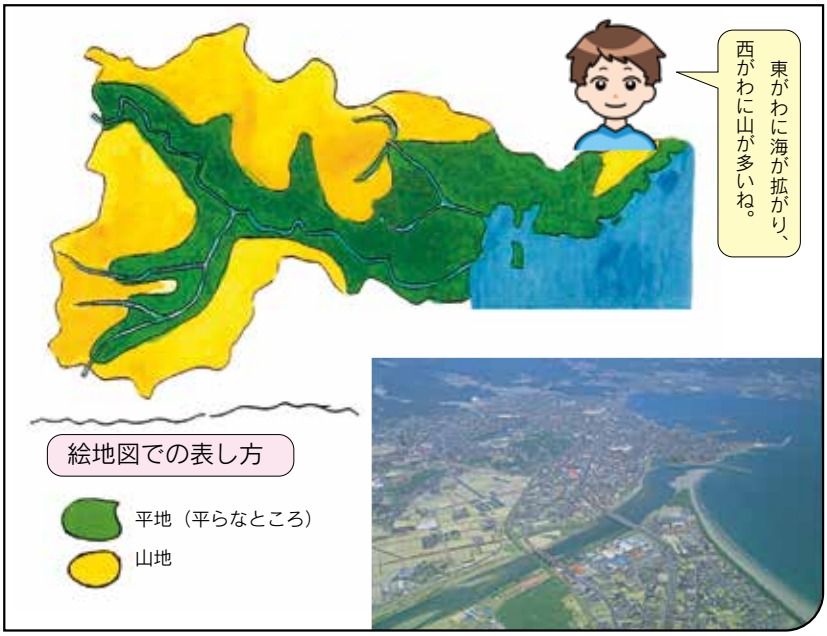
わたしたちの町の様子(ようす)を地図にまとめていきましょう。

八方位



ゆなさんたちの調べる計画





◉町の土地の様子

ゆなさんたちは，町の絵地図を見て，平地が，町のどのあたりに広がっているのか，山地はどのように続いているのか，その高さはどうなっているのかを調べました。

また，町にはどのような川があり，どのあたりを流れているのか，海岸は町のどちらがわにあるのかも調べてみました。

そして，町の白地図に川をかき入れたり，海や山地，平地の色をぬったりしていきました。

ことば

◆**平地**
平らで開けた土地のこと

平地は，どんなところに多いでしょうか。

◉川や海の様子

地図をつかって，川や海の位置を確かめてみよう。

ゆなさんたちの学校の近くには，五十鈴川が流れています。

地図を見ると，町内にはほかに，鳴子川が流れています。

五十鈴川は，西の美郷町北郷区から西門川を通って，東の海に流れています。

鳴子川は，門川町を北から南へ流れています。

また，海は東側に広がり，大きな湾になっています。

海岸の南の方は，すなはまが続いています。

◉平地の様子

○田や畑の多いところ

ゆなさんたちは，町の写真や地図によって，田や畑がどんなところにあるかを調べることにしました。

川にそって平地が広がっていることがわかりました。

田や畑は，五十鈴川や鳴子川の近くにあり，とくに海の近くに多く広がっています。

また，先生は，畑ではさまざまな野菜がつくられていると教えてくださいました。

田や畑が広がる場所は，どんなところに多いでしょうか。

◉工場の多いところ

大きな工場はどんなところに作られているでしょうか。

ゆなさんたちは，平地のつかいかたの中で，工場の多いところを調べてみました。

地図を見ると，水産物を加工する工場は海岸近くに多くならんでいます。そのほか，ビーズやビー玉をつくる工場や，自動車の部品をつくる工場などが，田や畑をうめたてたところや，山を切りひらいたところにあります。

道路に近いのは，品物をはこぶのに便利だからだろう，という予想も立ててみました。

◉店や住(じゅう)たくの多いところ

店や住たくは，どんなところに多くあるでしょうか。

ゆなさんたちは，町の地図を見て，店や住たくが集(あつ)まっているところをさがしました。

店や住たくの多いところは，旧国道(きゅうこくどう)や国道10号(ごう)にそって多くならんでいました。

また，役場(やくば)や学校のまわりにも，多くあることが分かりました。

さらに，山を切りひらいたところにも新しい住たく団地(だんち)ができていました。

◉高い土地の様子

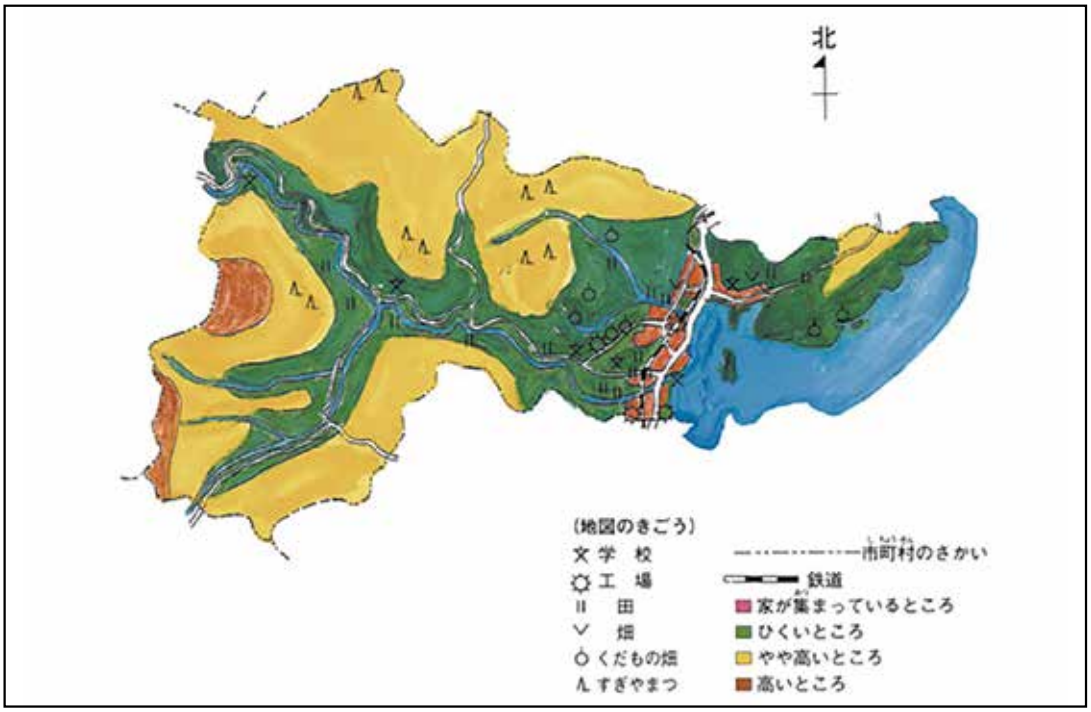
高い土地は，どのようにつかわれているのでしょうか。

ゆなさんたちは，さいごに，土地の高いところを，人びとがどのようにつかっているかを調べてみました。

海岸に近いところはみかん畑で，山地では，すぎやまつの木の林になっていることが分かりました。

木を育てているおじさんに聞くと，木を大きく育てるには，50年以上も世話が必要であると教えてくださいました。

その話を聞いて，ゆなさんたちは，とてもおどろきました。



「門川町には，いろいろな場所があることが分かったね。」

ゆなさんたちは，これまでの学習で分かったことを地図にまとめて，町のガイドマップをつくることにしました。

学習の仕方アドバイス

ガイドマップのつくり方

○町のかんたんな絵地図をつくる。

①町の白地図をじゅんびする。

②町のくわしい絵地図を見ながら，高いところやひくいところ，家が集まっているところに色をぬる。

③海やおもな川に色をぬる。

おもな道ろや鉄道は，のこしておこうね。

○絵地図に分かったことをかき入れる。

④町には，どんな様子のところがあるか，分かったことをかき入れる。

⑤しらべたときに使った写真や，集めた資料をはる。

◉町のし設調べ

ゆなさんたちは，町の人たちが勉強したり，運動したりするし設があることに気づきました。

みんなで調べる計画を立て，町の人がどんな場所で，どのような活動をしているか，地図やパンフレットにまとめることにしました。

◆調べる計画◆

町にある公共し設

★門川町役場★

★中央公民館★

★総合文化会館★

★門川海浜総合公園★

★心の杜温泉★

★町立図書館★

★草川小学校屋上の避難所★

★勤労者体育センター★

町にある昔の建物（たてもの）

門川神社（かどがわじんじゃ）

勝蓮寺（しょうれんじ）

永願寺（えいがんじ）

町内の小学校

門川小学校

草川小学校

五十鈴小学校

西門川小学校

※令和２年３月31日で閉校（へいこう）

2 働く人とわたしたちのくらし

セルフレジ

魚の水あげをする人

◉町の人たちの仕事

はるとさんたちは，学校のまわりや町の様子を調べていて，町にはいろいろな仕事をしている人がいることに気づきました。

「町内にあるスーパーマーケットでは，お店の人がとてもいそがしそうに仕事をしていたよ。お客さんがきかいを使って買い物をしていたよ。」

わたしたちのまちには，どのような仕事をしている人がいるのでしょうか。

魚のほし物を作っている人

みかんのしゅうかくをしている人

すりみの味を調整している人

肉を切っている人

「スーパーマーケットや薬局などの，お店ではたらく人がたくさんいたね。」

「川ぞいの場所には，田畑がたくさんあったよ。農家の人が，お米や野菜を作る仕事をしているね。」

「港の近くの工場で働く人は，どんな仕事をしているのかな。」

学習問題

町で働く人の仕事は，わたしたちのくらしとどのようにつながっているのでしょうか。

スーパーマーケット

商店がい

近くのお店

1 店で働く人

わたしたちは，どんな店で買い物をしているでしょうか。

ことば

◆直売所
農家の方々が直接販売しているお店のこと。

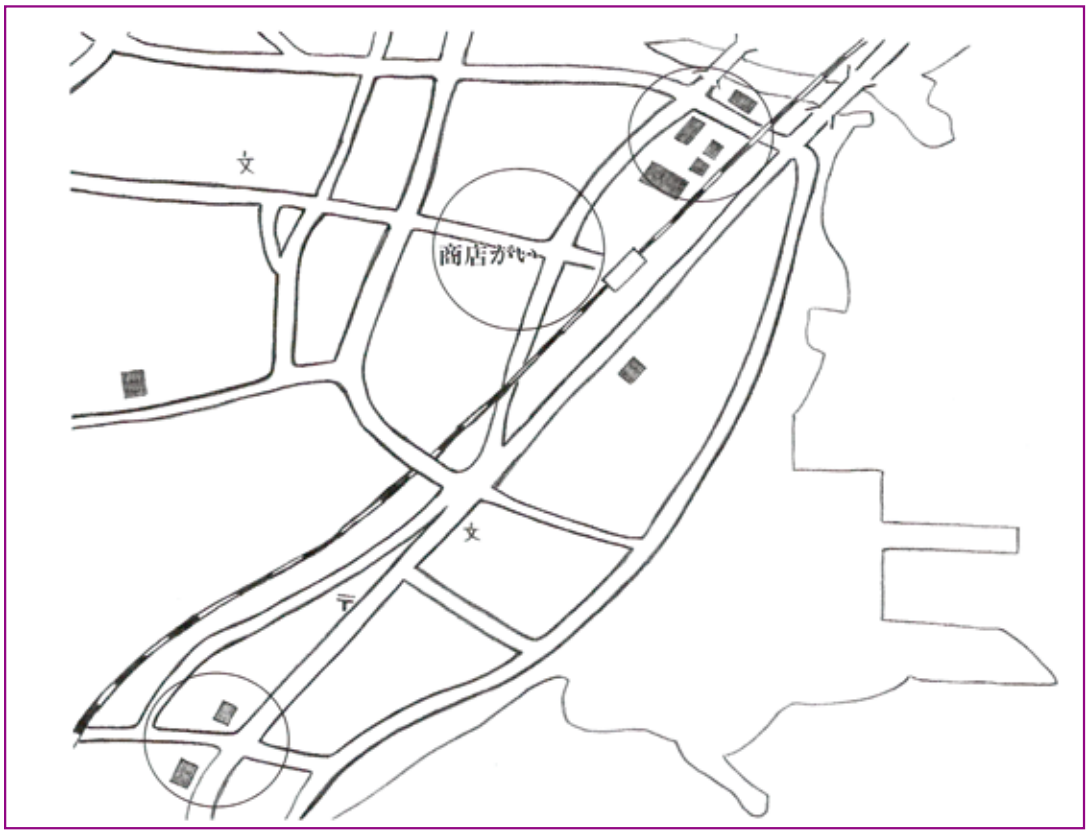
◉よく行く店

そうまさんたちは，家の人とよく買い物をする店について，みんなで話し合いました。

「ぼくは，家の人と近くのスーパーマーケットに，車でタごはんの材料を買いに行きます。」

「近くの直売所さんに野菜を買いに行ったことがあります。」

「日曜日に，家の人と商店がいに文房具を買いに行きました。文房具屋さんの他にもたくさんのお店がならんでいました。」



門川町内ちかくにある店の地図

そうまさんたちは，先生に門川町の店の地図をもらって，みんながよく行く店の場所を調(しら)べてみました。

「いろいろなお店があるんだね。」

そこで，店についてもっとくわしく調べるために，家の人に，よく行く店について聞いてくることにしました。

学習問題(がくしゅうもんだい)

人びとは，買いものをする店を，どのように選(えら)んでいるのでしょうか。

家の人は，なぜその店に行くのでしょうか。

◉買い物調べ

そうまさんたちは，家の人に質問することを整理して，質問カードにまとめました。

学習の仕方アドバイス

質問のしかた

質問カードを作る

- はじめに自こしょうかいをする。
- 質問のもくてきを書く。
- 何をどのように調べたいのかをはっきりさせて，質問を作る。
- 質問を作るときに，まとめ方も考えておくとよい。
- さいごに，お礼のことばを書く。

わたしたちは，○○小学校の３年１組一同です。社会科で家の人の買い物についてしらべることにしました。次のしつもんにお答えください。

①よく買い物に行くお店はどこのお店ですか。

１．＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

②なぜそのお店に行きますか。そのお店に行くわけを教えてください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

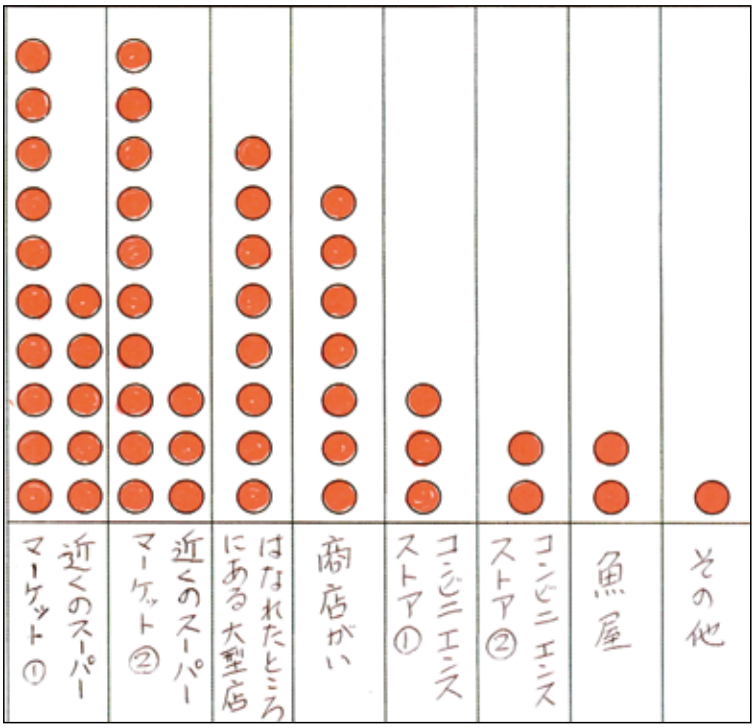
ご協力ありがとうございました。

○○小学校 ３年１組一同

「近くのスーパーマーケットに，よく買いものに行っていることが分かりました。」

「魚は近くの魚屋で，買っています。新せんで，安いからだそうです。」

質問カードを集めてみると，家の人がよく買い物に行く店はいろいろありました。店によって，行くわけがちがうことも分かりました。



家の人がよく買い物に行く店

近くのスーパーマーケットに行くわけ
- ちゅう車場が広いので，車で行ける。
- いろいろな品物を一度に買える。

近くのお店に行くわけ
- 近いので，すぐ買いに行ける。
- 新せんなやさいや魚が安く買える。

商店がいに行くわけ
- 家の人が仕事の帰りに買い物ができる。
- お店の種類がたくさんある。
- お店の人がとても親切。

「仕事の帰りに近くのスーパーマーケットで買いものをしてくるそうです。」

「お父さんがお酒を買いに，商店がいに行きます。」

スーパーマーケットに買い物に行く人が多いのはなぜなのか話し合って，学習問題をつくり，学習計画を立てましょう。

◉スーパーマーケットのよいところ

そうまさんたちは，スーパーマーケットに買い物に行く人が多い理由を考えました。

「ちゅう車場がとても広いし，車で来てたくさん買えるからじゃないかな。」

「スーパーマーケットは，品物の種類が多くて，一度にいろいろ買い物ができるからじゃないかな。」

「新聞によく，特売のちらしが入っているよ。今，何がおいしいのか，どんなものが安いのか，わかるからじゃないかな。」

そうまさんたちは，実際にスーパーマーケットに見学に行って調べることにしました。

学習問題

スーパーマーケットで働く人は，多くの人びとに買い物をしてもらうために，どのような工夫をしているのでしょうか。

学習の仕方
アドバイス

予想する

学習問題について予想する

①学習問題の意味をもう一度かくにんする。

②みんなで出し合ったスーパーマーケットのよいところは，どのような点で買い物のしやすさにつながっているか考える。

③みんなで出し合ったスーパーマーケットのよいところは，店の人がどのような工夫をして，そうなっているかを考える。

「お客さんが品物を見つけやすくするために，工夫していることがあるんじゃないかな。」

「お客さんにおいしいものを買ってもらうために，やさいやくだものなどは，とれる場所や季節を考えて売っているんじゃないかな。」

「たくさんのお客さんが来ることができるように，ちゅう車場を広くしているんじゃないかな。」

学習計画を立てよう

調べること

○品物を見つけやすくしたり，品物のよさを伝えたりするために，どのような仕事をしているか。

○どれくらいの人が働いていて，どのような仕事をしているか。

○どのような品物を売っているか。

○たくさんのお客さんに来てもらうためにどのようなことをしているか。

○どのようにしてスーパーマーケットの売り上げを上げているか。

調べ方

○みんなでスーパーマーケットに見学に行って調べる。

○スーパーマーケットで働いている人やお客さんにインタビューをする。

○見学してわかったことをノートやメモに書きこむ。

○店長さんに，売り上げを上げるくふうを教えてもらう。

まとめ方

○見学に行って気づいたことや，インタビューして分かったことをかべ新聞にまとめる。

近くのスーパーマーケットに行く人が多いのは，なぜでしょうか。

◉見学に行こう

そうまさんたちは，近くのスーパーマーケットが，どうしてよく利用されているのか，話し合いました。

「ちゅう車場がとても広いし，スーパーマーケットのほかにも，近くにいろいろなお店があるよ。」

「品物の種類が多いし，一度にたくさんの買い物ができるからじゃないかな。」

「買い物調べの答えのほかにも，何かひみつがありそうだよ。」

学習の仕方
アドバイス

見学の計画を立てる
見学メモを作る

スーパーマーケットの見学メモ

◉たしかめたいこと

お店の人に

①スーパーマーケットでは，どのような品物を売っているか。
②どれくらいの人がはたらいていて，どのような仕事をしているか。

お客さんに

①お客さんはどこから来ているか。
②スーパーマーケットで買い物をするわけは何か。
③どのようなことに気をつけて買い物をしているか。

◉調べ方

①見てわかったことや気づいたことを，ノートに書く。
②はたらいている人にインタビューして聞いてみる。
③お客さんにインタビューして聞いてみる。

◉気をつけること

①お店の人の仕事や，買い物をしているお客さんのじゃまにならないようにする。
②品物に手をふれないようにする。
③インタビューやメモにひつようなものを，わすれずに持っていく。
④話を聞くときはあいさつをして，終わったらお礼を言う。

そうまさんのノート

そうまさんたちは，実際にスーパーマーケットに見学に行って調べることにしました。

話し合って，確かめたいことや調べ方をノートにまとめました。

学習問題

スーパーマーケットで働く人は，どのような仕事を，どのように工夫して行っているのでしょうか。

発見メモ

上のほうを見ると，大きなかん板がありました。かんばんには，その場所に，どのような品物があるかが書いてありました。

発見メモ

たくさんのやさいがきれいにならべられていました。産地や食べ方も書いてあります。

いろいろな大きさに切ったものも売られていました。

スーパーマーケットの売り場には，どのようなひみつがあるのでしょうか。

◉店で発見

そうまさんたちは，スーパーマーケットの売り場を見て歩き，気づいたことをメモしました。みんなで，お客さんがたくさん来るひみつについて考えました。

「品物がたくさんあって，とてもおいしそう。買い物調べの答えのとおりだよ。」

「どこに何があるか，かん板を見ると分かるようになっていて，品物をさがすのに便利だね。」

発見メモ

おそうざいがたくさん売られていました。いろいろな種類があって，食べたいものを選んで買えます。

発見メモ

買い物しやすいようにカートがならべてありました。子どもを乗せるカートもありました。

「分からないこともあったよ。いろいろな大きさのくだものを売っているのは，何かわけがあるのかな。」

「おそうざいがたくさんあったけど，どこで作っているんだろう。どこかに作る場所があるのかな。」

分からなかったことは，働く人にインタビューしてみることにしました。

スーパーマーケットで働く人は，どのような工夫をしているのでしょうか。

◉スーパーマーケットで働く人

そうまさんたちは，店長さんにインタビューしたり，売場の様子について調べました。

店長さんの話

この店には，食べるものを中心にして，いろいろな品物がおいてあります。とくに野菜や魚・肉などはいたみやすいので，温度などに気をつけてつねに品質のよいものをならべるように気をつけています。また，魚や肉は買いやすいように，切っておいたりもします。野菜なども半分だけ買いたい人のために切って，ラップにつつんでおいたりもしています。ほかの品物も，種類別におく場所をきめて，お客さんに分かりやすくしています。入り口には，季節に合わせたしなものをならべたり，安売りの品物をおくようにしています。

この店では，80 人の人が，いろいろな仕事を受け持って働いています。

ことば

◆品しつ

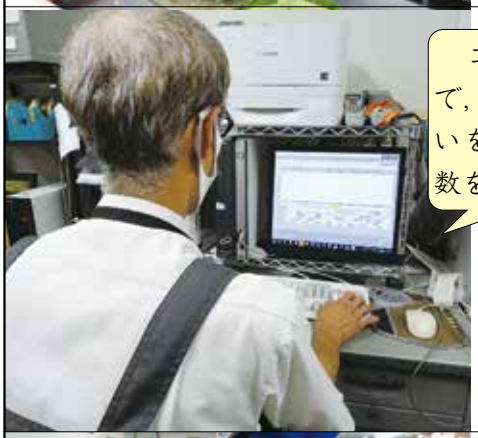
たとえばやさいやくだもののおいしさや新せんさなど，品物のよしあしを品しつといいます。店は，品しつのよい品物を売ることによって，お客さんに信用されるようになります。

お客さんが必要な量を買えるように，いろいろな大きさに切って，売り場に出します。

買う人の願い

家族の人数に合わせて，ほしい分だけ買えるようにしてほしい。

←野菜を切ったり，つつんだりする人



コンピューターで，品物の売れぐあいを調べ，注文する数を決めます。

買う人の願い

ほしい品物がいつでも買えるように，品切れがないようにしてほしい。

←事む所で働く人

やいて，すぐ食べられるように肉を加工しています。

買う人の願い

調理に手間のかからないお肉やお魚がほしい。

←肉を加工する人

できたてのおいしいものを売り場に出せるように一日に何回かに分けて作っています。

買う人の願い

できたてのおいしいおべんとうやおそうざいが食べたい。

←おべんとうを作る人

たくさんの品物は，どこから運ばれてくるのでしょうか。

◉品物はどこから

「こんなにたくさんの種類の品物は，どこで作られているんだろう。」

「野菜やくだものの売り場には，作られたところがねふだに書いてあったわ。」

「品物の近くにおいてあったダンボール箱に，よその県の名前が書いてあったよ。」

「外国から運ばれてくるものもあるのかしら」

みんなで，野菜やくだものなどが作られたところをしらべてみました。

学習の仕方
アドバイス

調べる手がかりをさがす

品物の産地しらべ

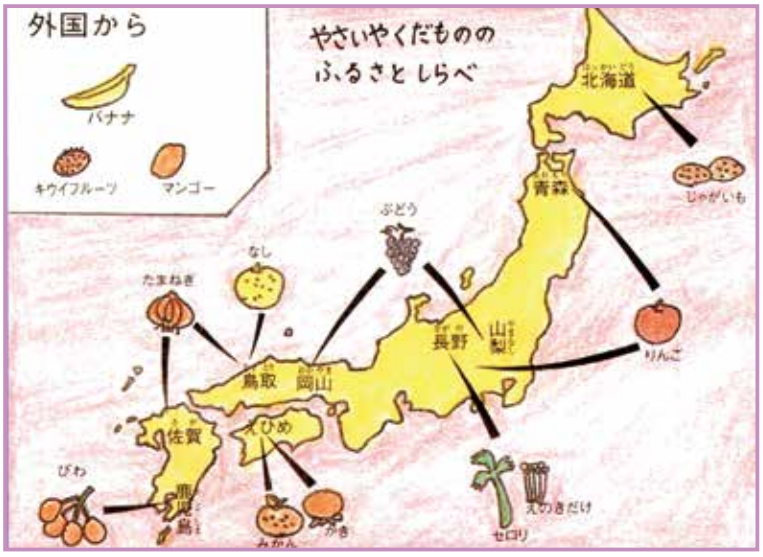
⑴産地がわかるものとして，次のようなものがあります。
- ねふだ
- パッケージのシール
- 野菜やくだものなどに直接はってあるシール
- ダンボール
- 品物の名前にヒントがある こともある。

⑵産地がわかったら，その場所を地図でしらべてみよう。

ことば

◆産地

やさいやくだもの，肉や魚などの，作られた場所やとれた場所のことを産地といいます。産地が書いてあれば，どこで作られているものかが分かります。



たくさんのお客さんが来るのは，なぜでしょうか。

◉たくさんのお客さんが来るひみつ

見学をしている間にも，たくさんのお客さんがやって来ます。

そうまさんたちは，お客さんにもインタビューしてみました。

お客さんに質問(しつもん)①

◎どこから来たのですか。

◎どうやって来たのですか。

車で20分ぐらいのところから来ました。少し遠いですが，ちゅう車場が広くて，むりょうでとめられるし，新鮮(せん)な魚や野菜(さい)が買えるのもよいところです。

新聞に入っていたちらしを見て，近所(きんじょ)なので自転車(じてんしゃ)で来ました。この店の品物(しなもの)は，産地(さんち)がはっきりしているし，種類(しゅるい)がたくさんあるのもよいところです。

地元で作られたものだけを売るコーナーがあります。ふくろに作った人の名前が書いてあるので，安心して買えます。

同じしき地に，いろいろなお店があるのがいいです。薬や日用品をせん門に売っているお店もあるので，買い物が１回ですみます。

お客さんに質問②

◎このお店の，お気に入りを教えてください。

店長さんの話

週に１回ほど広告のちらしを出しています。とくに土曜・日曜には，安く売る品物を決めてせんでんしています。

最近では，農薬をあまり使っていない野菜や環境にやさしい品物をおいたりしています。

近くのお客さんは，自転車に乗ってこられる人もいますが，車で来る人がほとんどです。そこで，ちゅう車場を広くして，車でも買いものに来やすいようにしています。それと，仕事帰りに買いものをするお客さんもいるので，夜おそくまで店を開けているようにもしています。このように，サービスの向上につとめています。

ことば

◆サービス

店では，お客さんのねがいにこたえられるように，くふうや努力をしています。そのくふうや努力をサービスといい，店によってさまざまなサービスがあります。

スーパーマーケットは，品物を売ることのほかに，どんなことに役立っているのでしょうか。

リサイクルコーナー

ことば

◆リサイクル
使い終わったものや，使えなくなったものを，つくり直したり，別のものにつくりかえたりして，また使えるようにすることです。

◉町の人たちとともに

そうまさんたちは，リサイクルコーナーやふしぎなマークを見つけました。

「自分でバッグを持っていくと，ごみを減らすことにもなるんだね。」

「たまった牛にゅうパックや食品トレーは，スーパーマーケットに持っていくと回しゅうしてくれるよ。」

車いすのかし出しコーナー

店の入り口の近くは，ちゅう車場にマークがつけられていて，お年よりやしょうがいのある人せんようのちゅう車場になっています。

「お店の入り口に，車いすのマークがあったよ。」

「車いすの貸し出しもしているんだね。」

「だれもが利用しやすいように，工夫をしているんだね。」

ことば

◆地いきこうけん

品物を売るだけではなく，地いきの人々に役に立つようにすることです。地いきこうけんをすることで，店も地いきの人々に大切にされます。

店長さんの話

わたしたちの店は，リサイクルなど環境のことを考えたいろいろなことに取り組んでいます。たとえば，レジぶくろのゴミを減らすため，お客さんにはできるだけ自分のバッグをもってきてもらうようにしています。

このほかにも，お年寄りやしょうがいのある人が利用しやすいように車いすの貸し出しなども行っています。

これからも，地域のみなさんが安心して利用できる店づくりを考えて地いきこうけんもしていきたいです。

◉かべ新聞にまとめる

そうまさんたちは，学習問題を確認し，今までに調べてきたスーパーマーケットではたらく人の工夫について話し合いました。

「かん板はお客さんが見やすくするための工夫だったね。どこに何があるか分かりやすかったよ。」

「産地やしゅんのものを考えて品物がならべられていたよ。」

「お客さんがお気に入りの様ざまなサービスもあったね。」

「スーパーマーケットは，お客さんの願いに合った様ざまな工夫をしていたね。」

そうまさんたちは，調べたときの写真やメモを使って，かべ新聞にまとめることにしました。

学習の仕方アドバイス

かべ新聞にまとめる

スーパーマーケットの工夫

○書くこうもくを決め，ぶんたんする。
○事実と意見を分けて書く。事実とは，調べてわかったことをさす。
○さいごに，感想を書く。この場合の感想とは，事実を知って，かべ新聞を書く自分自身が考えたことをさす。
○写真や絵をくわえると，わかりやすくなる。

まとめよう

スーパーマーケットで調べたことの中から，気づいたことを見出しごとに分けた「気づいたこと新聞」にしてまとめてみました。

スーパーマーケットの気づいたこと新聞

お店の人の工夫

スーパーマーケットには、たくさんのお客さんに来てもらうための、工夫がありました。

①コンピュータで品物の売れぐあいを調べて、注文する数を決めていました。

②お客さんの家族の人数に合わせて、買う量を決められるように、野さいやお肉などをいろいろな大きさに切って売り場に出していました。

③お客さんにできるだけ、できたてのものを食べてもらえるように、一日に何回かに分けてつくっていました。

ひとりでも食べられるよ

産地の工夫

たくさんの品物は、いろいろな場所で作られています。どのような場所で作られているかを表す工夫や、産地によってのちがいがありました。

①地元で作られた、野さいやくだものだけを売るコーナーを作っています。ふくろに作った人の名前が書いてありました。

②めだつ色のねふだに大きな文字で産地が書いてありました。同じお肉や野さいでも、産地によってねだんがちがいました。

サービスの工夫

お客さんの願いにこたえながら、売り上げを上げるための工夫をしています。

①同じしき地にいろいろな店があり、一度にたくさんの種類の品物が買えます。

②ちゅう車場を広くして、ゆっくり買い物ができるようにしています。

ドラッグストアやホームセンターもあるよ

売ることのほかの工夫

品物をうるだけでなく、地いきの人々の役に立つようなこともしています。

①リサイクルコーナーをおいて、ゴミをへらすためのとりくみをしています。

②車いすのかし出しコーナーをおいて、だれもが利用しやすいようにしています。

まとめ

スーパーマーケットで働く人々は、お客さんが買い物しやすくして、売り上げを上げるために、さまざまなくふうをしています。

感想

○はたらく人の工夫は、お客さんをだい一に考えたけっかなんだと思いました。

○ほかの店の売り上げを上げる工夫も知りたいです。

わたしたちは，ほかにどんな店を利用しているのでしょうか。

◉いろいろな店

スーパーマーケットのほかにも，わたしたちはいろいろな店を利用しています。

- 自転車や歩いての買い物に便利。
- 顔見知りなのでサービスしてくれることもある。

近所のお店

- いろいろな店が集まっているので便利。
- たくさんの店が協力し合って，お客さんをよぶ工夫をしている。

商店がい

- せん門にしている品物の種類がたくさんある。
- くわしい店員さんがいる。

おおがたせんもん店

- 早朝や夜おそくでもやっているので便利。
- 品物の種類が多い。

コンビニエンスストア

◉町の商店がいのようす

町の商店がいには，魚屋・肉屋などの食べ物を売る店，ほかに，電器店，けしょう品店，自転車店，クリーニング店，だがし店，飲食店などのお店があることが分かりました。

電器店

けしょう品店

自転車店

クリーニング店

だがし店

飲食店

商店会長さんの話

商店がいでは，「商店会」という組合をつくって，勉強会を開いたり，お客さんがたくさん来てくれるようにいろいろな工夫をしたりしています。

また，商店がいをきれいにかざって楽しく買いものができるように，工夫をしてきました。

直売所に集められた，トマト・へべす・米

2 農家の人びとの仕事

門川町では，どのような作物が作られているのでしょうか。

◉門川町で作られる野菜やくだもの

ひまりさんたちは，門川町で作られる野菜について話しています。

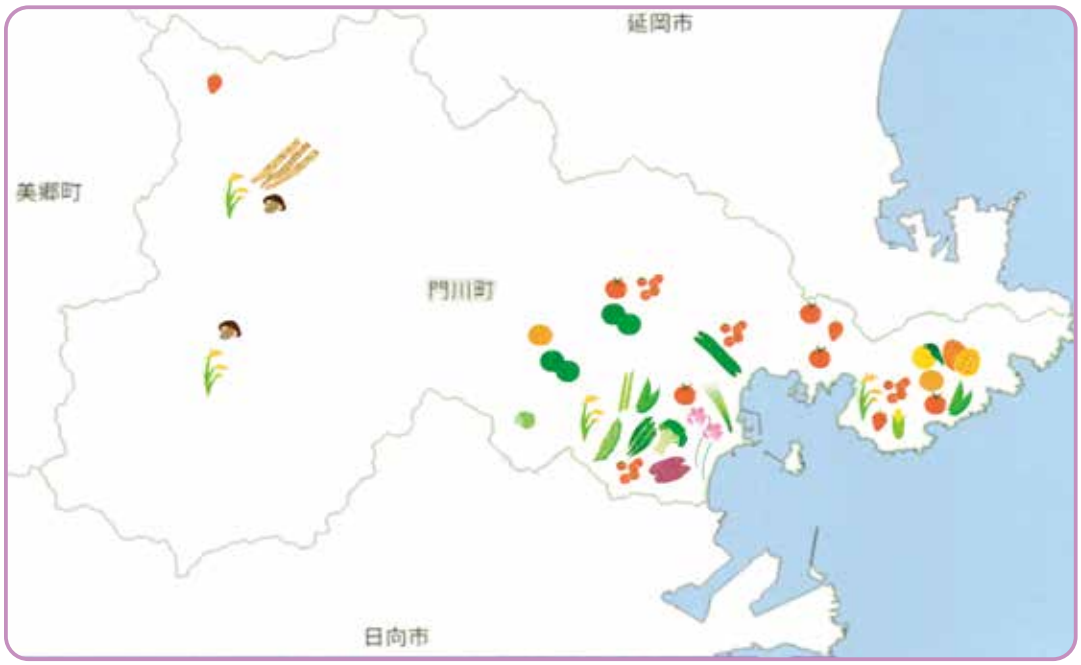
「門川町では，高とう度トマト，へべす，米をたくさん作っているよ。」

「農家の人が，いっしょうけんめい作っているよ。」

「門川町のどのあたりで野菜や米，くだものをたくさん作っているかな。」

ことば

◆作物
田や畑で作られるもののこと



門川町で作られる主な野菜やくだもの

門川町で作られる主な野菜やくだものが，どこで作られているか，地図帳を使って調べ，白地図にまとめることにしました。

「門川町では，たくさんの野菜やくだものが作られているね。」

「とくに，町の東側では，いろいろな種類の作物が作られているね。西の方では，しいたけも作られているね。」

「門川町で作られたトマトを食べたことがあるけど，とってもおいしかったよ。」

❶ せんか場にあつめられた高とう度トマト

※店に運(はこ)ばれるころにはみどり色が赤色に変わる

「おいしそうなトマトだね。食べてみたいね。」

「ぼくもミニトマトを作ったことがあるよ。」

「農家(のう)の人たちは，どのようにして作っているのかしら。」

高とう度トマト作りについて，ぎ問に思ったことを話し合い，学習問題(もんだい)をつくりましょう。

学習問題(がくしゅうもんだい)

農家の人たちは，どのようにして作物(さくもつ)を作っているのでしょうか。
できた作物は，どこへどのようにして送られているのでしょうか。

◆はるとさんたちの調べる計画

トマトが，どこへ，どのようにして送られるかを農業協同組合の人に聞く。 	トマト作りの工夫を農家のおじさんに聞く。

◉いくつもならぶビニルハウスやガラスハウス

広い畑の中にいくつもならんでいるビニルハウスやガラスハウスは，ミニトマトやスイートピー，きゅうりなどを作っている農家の仕事場です。

はるとさんたちは，ここで高とう度トマト作りをする農家の中田さんをたずねました。

農家では，１年間どのように仕事をしているのでしょうか。

◉高とう度トマトづくりの１年間

はるとさんたちは，町内で高とう度トマトを作る中田さんの畑に見学に行き，話を聞きました。

たねをまく

なえを育てる

なえを植える

たおれないように，クリップをつける

ホルモンしょり（みをつける）

しゅうかくをする

・ハウス内を８つの区画（くかく）に分けて，タイミングをずらして上の作業を１年に３回行う。

高とう度トマト農家の中田さんの話

わたしたちはハウスの中で１年中，甘くておいしい高とう度トマトを作っています。

寒い冬や暑い夏でもトマトが元気に育つようにさまざまな工夫をしてハウス内の環境を整えてトマトのお世話をしています。

しかし，病気や害虫の被害を受けたり，天気が悪くてトマトができなかったりもするので毎日毎日が勉強です。

また，甘くておいしいトマトを作ろうとすると，普通のトマトより実が小さくなってしまうので，トマトを上手に作る工夫だけでなく売るための工夫もしています。

わたしたちの高とう度トマトをもっと，多くの人に美味しいと食べてもらえるように愛情をこめてトマトを作っていきます。

学習の仕方アドバイス

見学のしかた 高とう度トマトの見学

① かんさつする

・ハウスのようすや，農家の人がどのような作業をしているかを，かんさつしよう。
・かんさつしてふしぎに思ったことは，なぜそうなっているか考えてみよう。

② しつもんする

・かんさつしてふしぎに思ったことは，何をどのように聞くかを考えて，農家の人にしつもんしてみよう。

③ ふれる

・農家の人に，作物や土などにふれてよいか聞いてみよう。
・ふれてよければ，じっさいにふれてたしかめよう。

④ きろくする

・わかったことやふしぎに思ったことは，メモをとったり，写真にとったりしておこう。

⑤ 見学が終わったらお礼を言う

・見学のさいごに，農家の人にお礼を言おう。
・帰ったら，お礼の手紙を書こう。

○ビニルハウスでみつけたこと

はるとさんたちは，中田さんのビニルハウスを見学して分かったことや，ふしぎに思ったことをそれぞれメモにまとめています。

高とう度トマトは，どのように作られているのでしょうか。

「ビニルハウスの中は広いね。トマトが，まっすぐ列(れつ)を作って，植(う)えられているよ。」

「高とう度トマトは，どのようにして作られているのかな。」

「中田さんの仕事には，どんな工夫があるのか気になります。」

前に，ミニトマトを育てたとき，土になえを植えて育てたけど，土を使っていなかった。根を水にひたして，育てていた。なぜ，地面に直接(せつ)，植えないのかな？

なえが小さいものもあれば，少し高いものもあった。もうしゅうかくできそうなものもあったよ。ビニルハウス内では，分けて育てているのかな？どうしてかな？

トマトのなえは，たくさんあったけど，どれも全てまっすぐ上にのびて育っていた。たおれたりしないのかな？そういえば，全ての苗に黒いクリップが，とめられていた。何か関係(かんけい)があるのかな？

ビニルハウスの入り口の近くに，大きな機械(きかい)があった。中田さんは，その機械のスイッチを押して，何か動かしているみたいだったけど，何を動かしているのか気になりました。

高とう度トマトづくりには，どのような工夫や努力があるのでしょうか。

◉工夫がつまった高とう度トマトづくり

はるとさんたちは，メモをもとに，高とう度トマトづくりの工夫を中田さんに聞きました。

地面に直接，植えないのは，なぜですか？

○土を使わないさいばい方法

「養液さいばい（水こうさいばい）」と言って，土を使わず，水と水にとけたひ料を使って，育てています。土を使って，育てる場合，そこで同じ作物を育てると，土の栄養バランスがくずれたり，作物にわるいきんが増えたりして，育ちのよくない作物ができてしまうことがあります。

「養液さいばい（水こうさいばい）」は，土を使わないため，それをふせぐことができます。また，トマトにあたえるひ料を調節できるため，あまくて，おいしい高とう度トマトをよりたくさんしゅうかくすることができます。

分けて育てているのは，なぜですか？

○成長のだんかいに分けて育てる

ビニルハウス内では，トマトを成長のだんかいに分けて育てています。各区画で，種をまく時期をずらすことで，

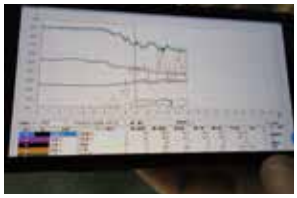
しゅうかくできる時期をずらすことができるようになります。そうすると，トマトを長い間しゅうかくすることができるのです。また，上からつりさげられているヒモに黒いクリップでなえをとめることで，なえがたおれずに，まっすぐ上にのびて育てることができます。なえが上にのびると，太陽の光を十分にあびせることができます。

機械で何を動かしているんですか？

○機械をつかって，大切に育てる

機械を動かして，水やひ料をあげたりするだけではなく，ビニルハウス内が暑すぎないように，冷ぼうをかけたり，プロペラを回して，空気を入れかえたりしています。おいしいトマトが育つように，こまかくチェックし，かんりしています。

いろいろなセンサーが入った白い箱



いろいろなじょうほうをグラフで表示できる

○スマートフォンやタブレットパソコンでかんりができる

ビニルハウス内の温度や空気，また水やひ料ののう度などのじょうほうは，ビニルハウス内にある白い箱からスマートフォンやタブレットパソコンに送られ，リアルタイムで知ることができます。また，スマートフォンやタブレットパソコンを使って，温度や空気を調節したり，水をあげたりすることもできます。だから，ビニルハウスに直接行かなくても，ビニルハウス内を管理することができます。

しかし，害虫がついていないか，病気をしていないかなどは，実際に，トマトを見に行かなければ，分かりません。そのため，スマートフォンやタブレットパソコンだけにたよらず，しっかりと，毎日自分の目で見て，トマトのじょうたいを確認しています。

◉トマトの旅

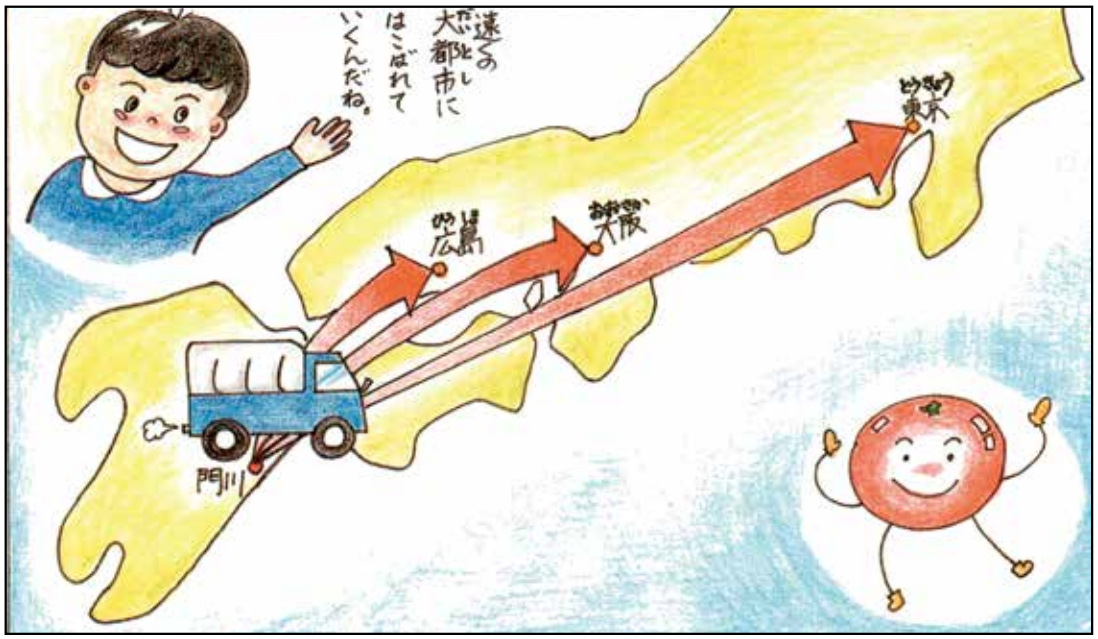
はるとさんは，とれたトマトが，どこへ，どのようにして送られるのか，農業協同組合（ＪＡ）のおじさんに聞きました。

ＪＡのおじさんの話

とれたトマトは，ＪＡのせんか場で，大きさや形などで分けられ，箱づめされます。

箱づめされたトマトは，トラックで東京や大阪などに送られます。

とれたトマトは，どこに送られるのでしょうか。



トマトの送り先

そのほかの農家の仕事

門川町には，そのほかにみかんを作る農家やきゅうりを作る農家，米を作る農家，肉牛・ぶた・にわとり（ブロイラー）をやしなっている農家があります。

へべすを作る農家もあります。

みかん畑

色鮮やかなミニトマト

たくさんみのったきゅうり

牛舎の様子

広がる水田

◉せん伝シールを考える

これまでの学習をふり返り，高とう度トマトをせんでんするシールの案を考えましょう。

はるとさんたちは，これまでの学習をもとに分かったことを話し合っています。

「１年中しゅうかくできるように，工夫して育てていたね。」

「おいしく作るための工夫もたくさんしていたね。トマトをあまくするための工夫も知ることができたよ。」

話し合いをして，はるとさんたちは，門川町でとれる高とう度トマトをせん伝したくなりました。そこで，「もし高とう度トマトにせん伝シールを付けるならどんなシールにするか」の案を考えることにしました。

学習の仕方アドバイス

せん伝シールを作る

- 町でとれる作物をせん伝するシールの内容について，学習してきたことを生かして考える。
- 作物が作られるまでの工夫や努力について話し合う。
- 農家の人たちがどのようなところに工夫して農作物を作っているか，いちばん伝えたいことを短い文にまとめる。
- つくった短い文の題名を決める。

①はるとさんたちの考えたせん伝シールの案

まごころトマト

高とう度トマトは，あまくするために，たくさんの手間をかけて作られています。

門川のほこり

高とう度トマトは，わたしたちが住む門川町の農家の人たちがいろいろな工夫をして作っています。

②はるとさんのノート

分かったことや考えたこと

農家の人たちがさまざまな工夫や努力をして，高とう度トマトをおいしく，たくさん作っていることが分かりました。また，トマトの管理をするためにスマートフォンやタブレットを使うなど，機械をたくさん使うことも知ることができました。

わたしは，自分たちの住んでいる町でつくられている作物にとてもきょう味をもちました。もっとみんなに高とう度トマトのよさを知ってもらうためにどうすればいいのか，考えてみたくなりました。

ー メ　モ ー

魚の水あげのようす

3 海で働く人びとの仕事（しごと）

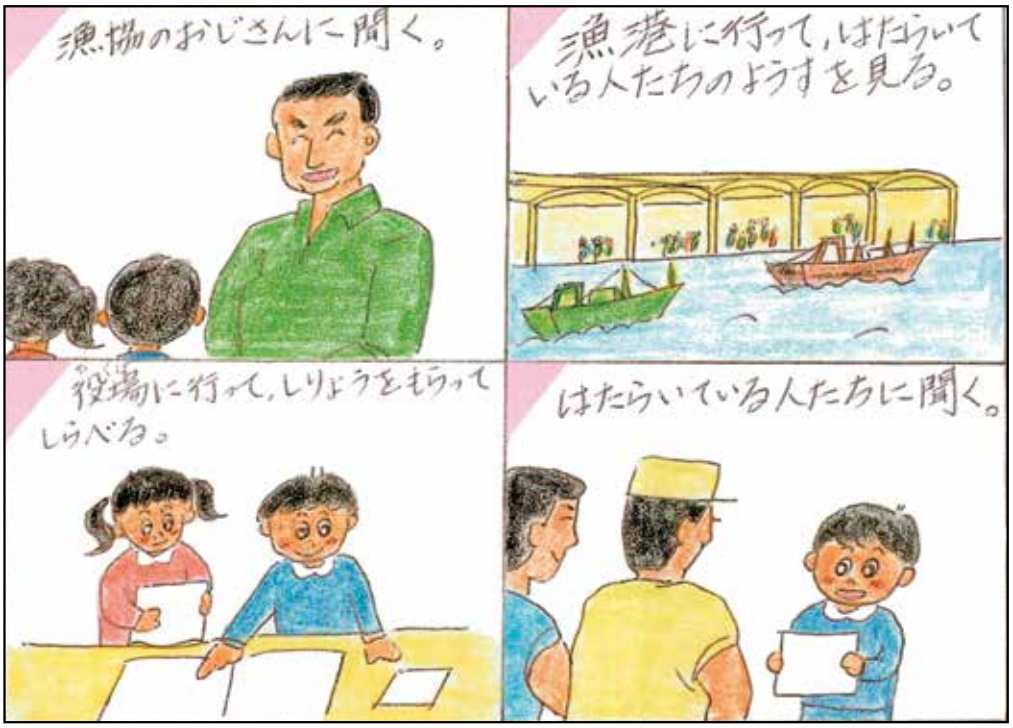
「ずいぶんたくさんの魚がとれるんだね。」

「どのようにして，魚をとっているのかしら。また，ほかにどんなことをしているのかしら。」

学習問題（がくしゅうもんだい）

海で働（はたら）く人びとは，魚をとったり，多く売ったりするためにどんな工夫をしているでしょうか。

◆そうまさんたちの調べる計画



そうまさんたちは，学校から少しはなれた漁港をたずねてみました。そこでは，ちょうど魚の水あげをしているところで，多くの人たちがいそがしそうに働いていました。

ゆなさんたちは，もう一つの漁港に行き，漁業協同組合（漁協）のおじさんにいろいろと聞いてみることにしました。

どんなことが，わかるでしょう。

「話を聞いたりして，くわしく調べてみよう。」

ことば

◆漁業協同組合（漁協）
漁業者（漁民）によって組織されてきた協同組合

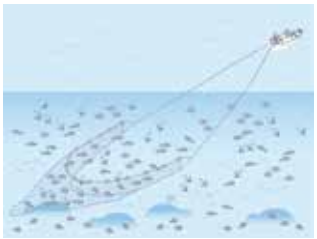
門川漁協

庵川漁協

みなとでは，どんな仕事をしているのでしょうか。

◉働いている人たちのようす

そうまさんたちは，魚の水あげの様子を見た後，そこで働いているおじさんに仕事をするときの様子や工夫していることなどについて，話を聞いてみました。



底びきあみ漁法

水あげ

選別

せり

はこづめ

出荷

「こんなふうにして魚は水あげされ，そしてはこばれるんだよ。」

「いろいろな仕事があるのね。よくわかったわ。」

◉海で働く人たちのくふう

海ではたらいている人たちは，どんな工夫をしているのでしょうか。

ゆなさんたちは，漁協のおじさんに魚の水あげりょう（とれる魚のりょう）をふやすために，どんな工夫をしているのか聞いてみました。

漁協のおじさんの話

魚がもっととれるよう，船の機械をよくしたり，せりがスムーズに行えるようにタブレットで魚の売り上げを管理したりしています。

また，「とる漁業」だけではなく，「養しょく」といって「育てる漁業」の方もしています。

しかし，最近はエサ代が高くなって，養しょくをする人がへっています。

「いろいろな工夫をしているんだね。」

養しょく場（育てる漁業）

あげみはどのように作られているのでしょうか。

◆あげみ工場の様子

ゆなさんたちは，町の工場ではたらいている人びとについても調べてみました。

「ぼくのすきなあげみは，どんなふうにして，作っているのかな。調べるのが，楽しみだなあ。」

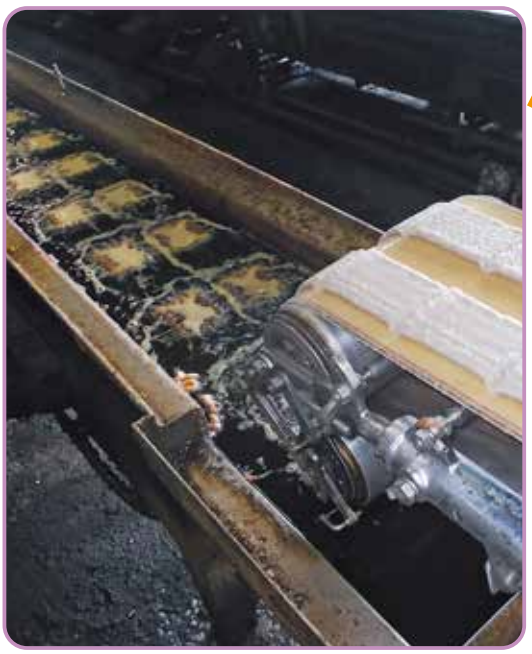
「いろいろな仕事がありそうね。よく見てみましょう。」

一つ一つていねいに魚をさばいていく

さばいた魚をすりつぶす

塩や調味料を加えながらすりみをねる

他の魚のすりみを加えてさらにすりみをねる



1回目のあげ
表面をしっかりあげ，形をつくる

あげたすりみをきかいの中で冷やす

冷やしたすりみを目で確認し，悪いものはとりのぞく

できたあげみを袋づめする

門川町のふるさと納税の返礼品としても出荷している

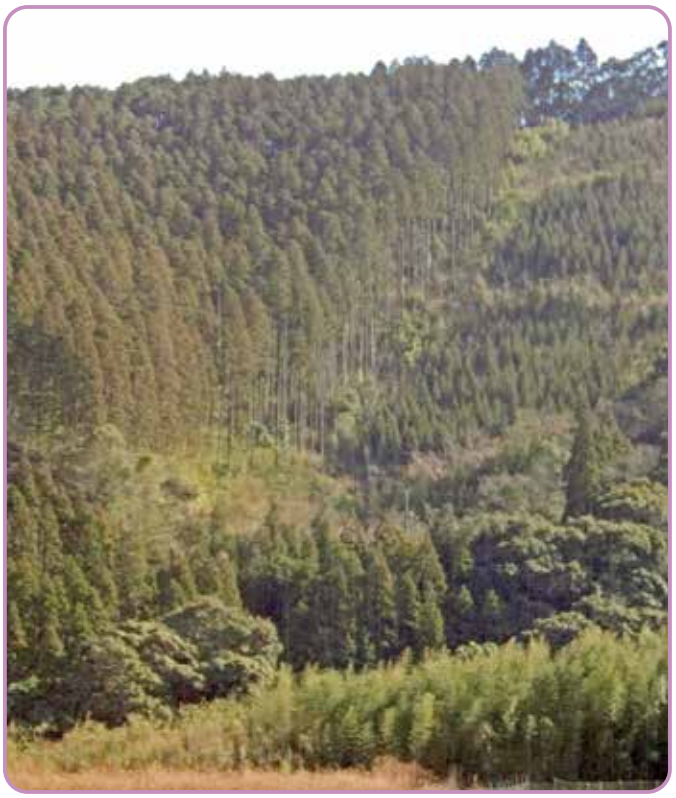
二回目のあげ
中までしっかり火をとおし
ふっくらさせる

「あげみができるまでには，
たくさんの仕事があるんだね。」

工場のおじさんの話

お客さんに，新せんで，おいしい魚のあげみを食べてもらうために，門川近くの海でとれた「えそ」という魚のすりみに，10しゅるいほどの魚のすりみを混ぜて作ります。

◆山地で作っているもの



植林（しょくりん）された山

ゆなさんたちは，先生たちといっしょに西門川の方へバスに乗（の）って行きました。

そこでは，木をもとにしていろいろなものを作っていることを知りました。

「木からは，いろいろなものが作られているんだなあ。」

「山での仕事（しごと）は，どんなふうにしているのかしら。」

ゆなさんたちは，山地での仕事の様子を調べてみることにしました。

調べてみると，いろいろな仕事があることが，分かりました。

木材のきりだし

しいたけ（西門川）

炭焼き

パルプ用木材（日向市）

「山では，木を使っていろいろなものを作っているのね。どんな工夫をしているのかしら。」

「山には，ぼくたちの知らないほかの大切な働きがあるのかもしれないね。」

ことば

◆山地
まわりより高い地域で，いくつかの山からなる所

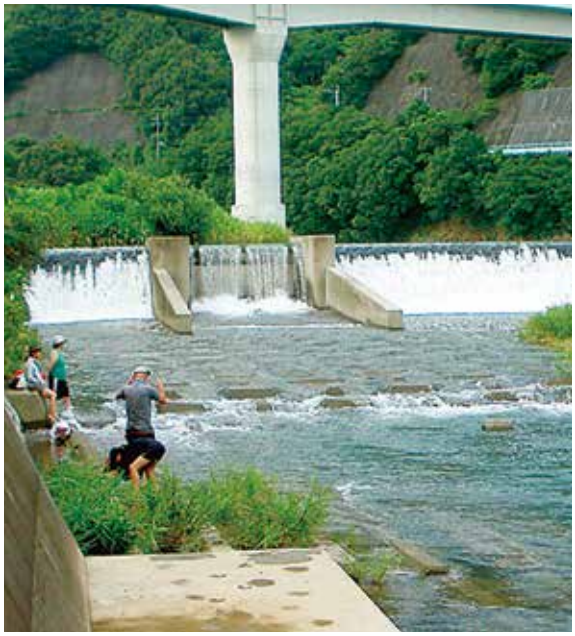
山地では，どんな仕事をしているのでしょうか。

◆山の働き

山の働きについて調べてみましょう。

手入れをされた山

手入れをされていない山



五十鈴川のようす

よく手入れをされた山は，自然のダムの働きをします。

山がスポンジの役割をして，きれいな水だけを川に流します。

そのため，五十鈴川は，いまでもきれいな水をたもっています。

◆山で作られるもの

門川町の山の木を使っていろんなものが作られています。

用材用木材（日向市）

パルプ用木材（日向市）

木炭（西門川）

しいたけ（西門川）

門川町の山の多くは，西門川地区にあります。

西門川地区では，むかしから林業がさかんで，いまでもいろいろなものが作られています。

3 くらしを守る

写真を見ただけでもこわさが伝わりますね。事故や火事などについて，みんなで話し合ってみましょう。

「車に乗っていた人は，大丈夫だったのかなあ。」

「大きな火が，こわいね。みんなにげないと。」

「わたしたちの町で火事や事故がおきたらどうなるのかな。」

テレビや新聞を見ると，毎日どこかで交通事故や火事がおきています。これらの災害は，わたしたちの命や財産をうばうたいへんこわいものです。では，だれが守ってくれているのでしょう。

学習問題

交通事故や火事から，人びとの安全を守るために，どこでどのような人たちが活やくしているのでしょう。また，わたしたちは，どういう取り組みをすればよいでしょう。

左のページの写真では，どんな人がはたらいているか，みつけましょう。

◆はるとさんたちの調べる計画◆

インタビューする ・　人びとの安全を守るための活動などをインタビューして，調べる。	見学する ・　安全を守るためのし設や車，きかいなどを見学して調べる。
自分たちのまわりを調べる ・　安全やぼう火のためのし設や標しきなどを歩いて調べる。	まとめる ・　調べたことやわたしたちにできることをまとめる。

1 火事(かじ)からくらしを守る

◉学校の避難訓練(ひなんくんれん)について，話し合ってみましょう。どんな人がきて，どんなことをしたのか考えてみましょう。

「はじめてこんなに近くで、消(しょう)ぼう自動車(じどうしゃ)を見たよ。」

「はしご車に人がのっているよ。高いなあ。」

「火事があったら，本当に消ぼう自動車がきてくれるのかなあ。」

「学校まで，どれくらいの時間できてくれるのかなあ。」

「消ぼうしょの人たちが，火事でもないのに，放水(ほうすい)しているね。」

「消ぼう自動車は，どんなことができるのかなあ。」

「消ぼう自動車の種類(しゅるい)や消ぼうしょの人たちの仕事について，調(しら)べてみようよ。」

写真(しゃしん)を見て，思ったことやふしぎに思ったことをインタビューカードにまとめてみましょう。

調べ方を話し合い，消ぼうしょに見学に行って調べることになりました。

学習問題(がくしゅうもんだい)

火事がおきたら，だれがどのようにして，町や人びとのくらしの安全(あんぜん)を守るのでしょうか。

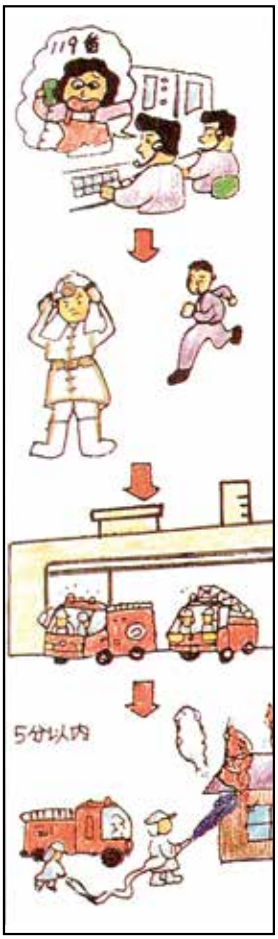
消ぼうしょには，どんなしせつやどんな仕事があるのでしょうか。

◉消ぼうしょの見学

ひまりさんたちは，日向市にある消ぼうしょを見学して，いろいろなことを調べました。

「火事がおきたら，すぐかけつけられるように，いろいろな工夫がしてあるね。」

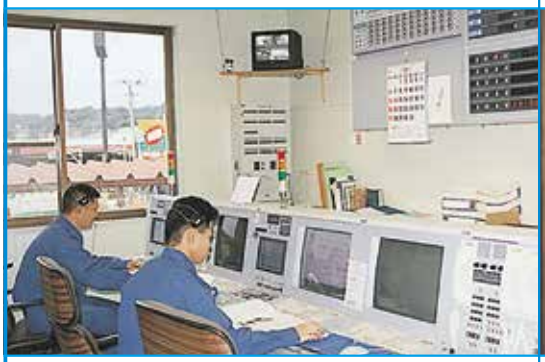
「火事のおこっているところに，５分くらいでつくそうよ。」



火事の知らせを受けてからかけつけるまで

消ぼうしょのようす

消ぼうしょ

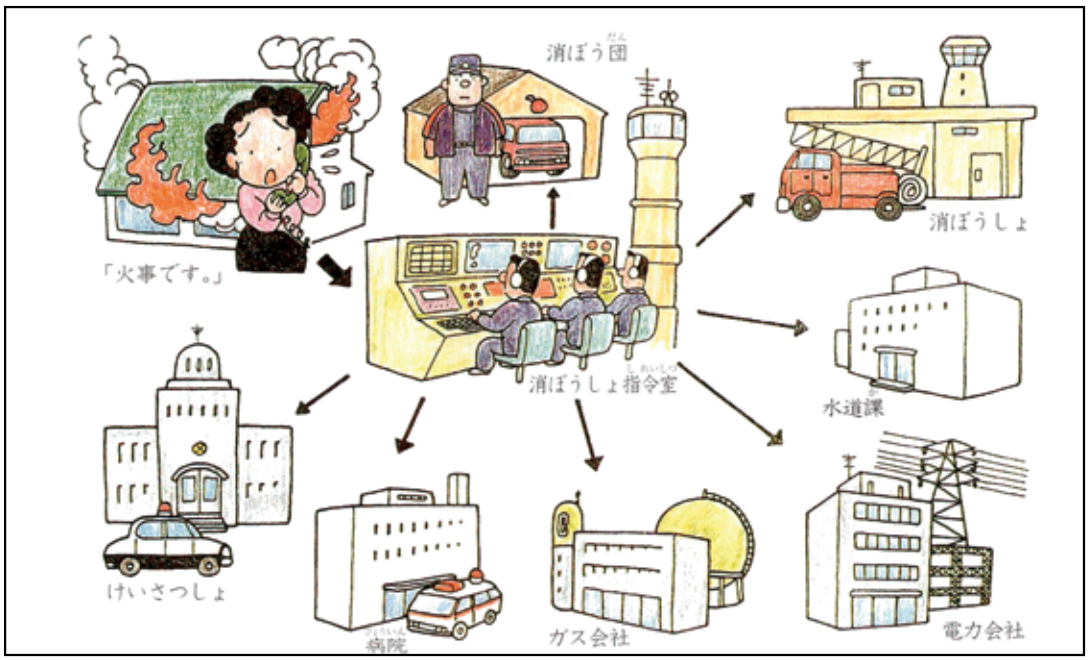


消ぼうしょ指令室

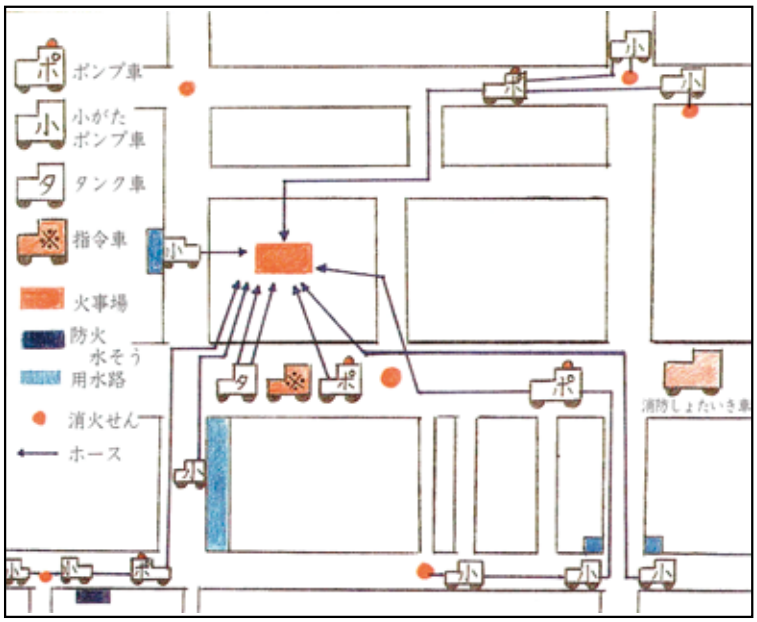
ロッカー

○とまりこむへやもありました。

○ 119 番への電話



消ぼうしょ指令室からのれんらくのしくみ



消ぼう自動車の配置図

火事の様子がよくわかる位置に指令車をおいて，風の向きや強さ，火事の様子などを考えて，どの車がどこの消火せんやぼう火水そうを使うかれんらくし，うまく配置します。

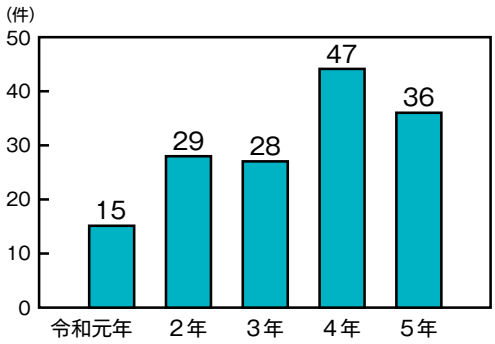
火事をふせぐために，消ぼうしょの人は，どんな仕事をしているのでしょうか。

◉火事をふせぐために

「火事がおこったときのことは，よくわかったけど，どうして火事は，なくならないのかなあ。」

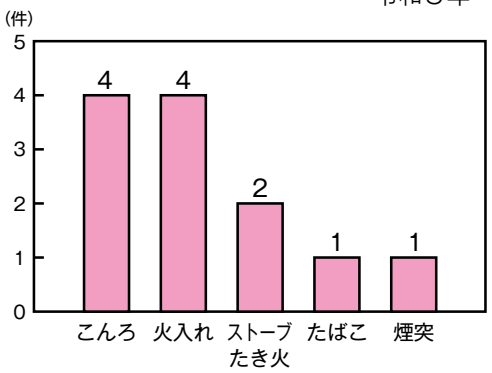
「どうしたら，火事をふせげるのかなあ。」

火事の件数の変化〈日向市，門川町〉



火事の原因〈日向市，門川町〉

令和５年



ひまりさんたちは，町の人や消ぼうしょの人が火事をふせぐためにどのようなことをしているか調べました。

消防しょの人たちの予ぼう活動やくんれん

◉まわりの人びとのきょう力

消ぼう団の人びと

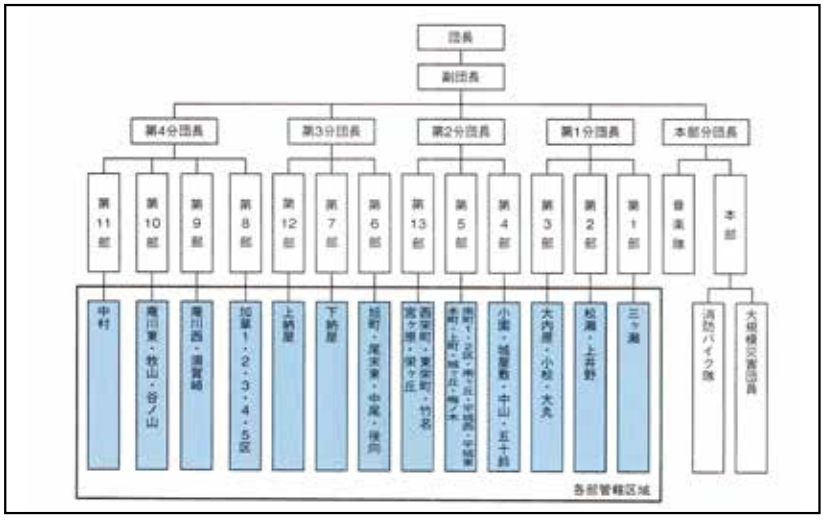
消ぼう団では，どんな人たちが，どのように活動しているのでしょうか。

消ぼう団のおじさんの話

門川町の消ぼう団は，本部と音楽隊，４分団１３部あります。消ぼう団の人たちは，ふだんは，農業や商業など別の仕事をしていますが，火事がおきると急いでかけつけ，消ぼうしょの人といっしょに消火にあたります。 そのほかにも消火訓練や消火き具の点けん、冬には、火事がおきないように夜でも受け持ちの区域を見まわっているんですよ。

消ぼう出初め式

消ぼう団一斉放水



門川町消ぼう団組織図

消ぼうしょの仕事を調べて分かったことを発表しよう。

◉みんなに教えてあげよう

見学してわかったことを，みんなにも教えてあげることにしました。

ゆなさんの発表

はるとさんの発表

◉わたしたちにできること

身近なところには，どんな安全を守るしくみがあるのでしょうか。

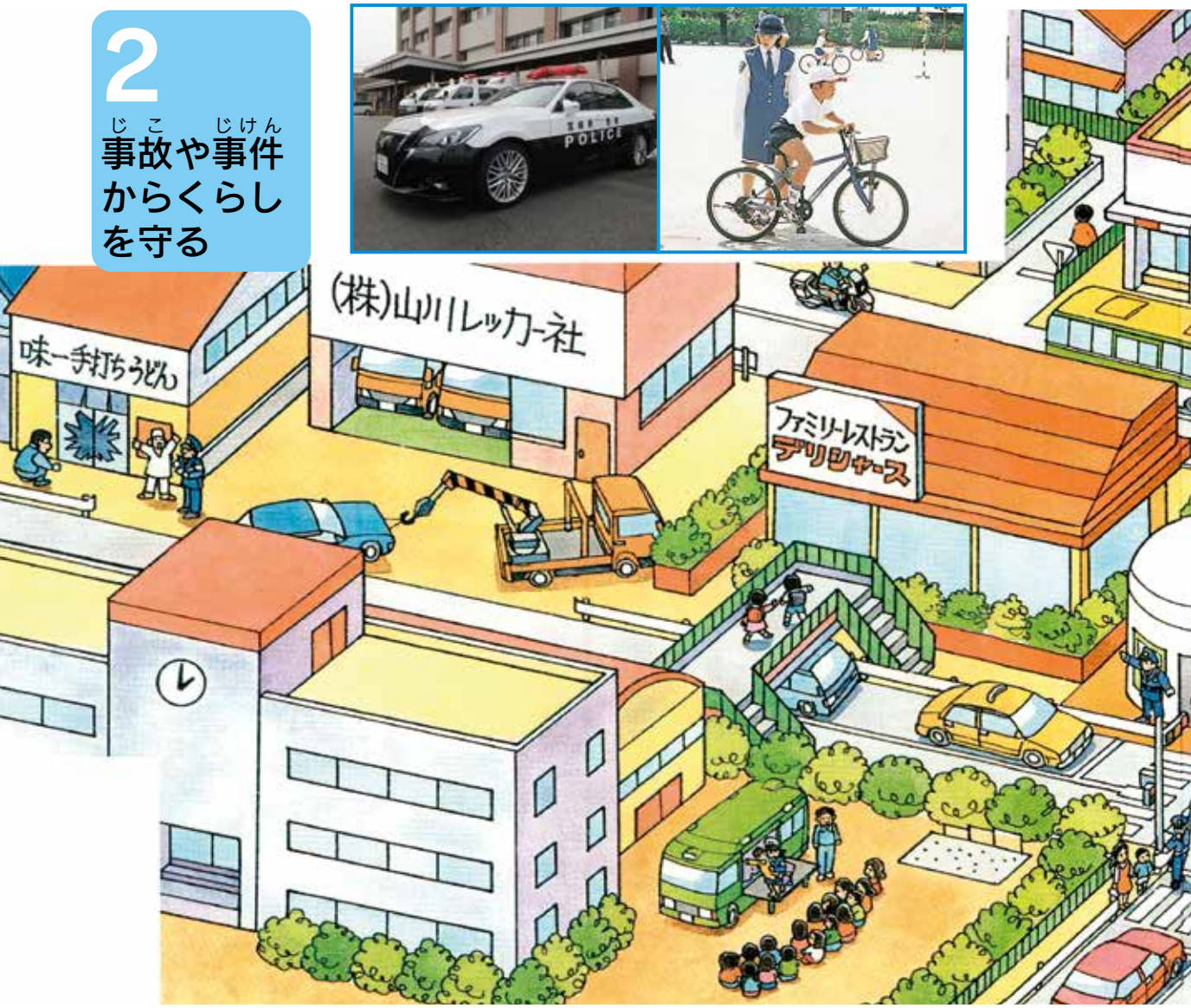
まちや学校にある火事にそなえたせつびやし設を調べ，地図や写真資料にかきのこそう。

消ぼう団の機庫　　いろいろな消ぼう設備

学校のまわりの設備調べ

●消火せん ▲ぼう火水そう □消ぼう団機庫

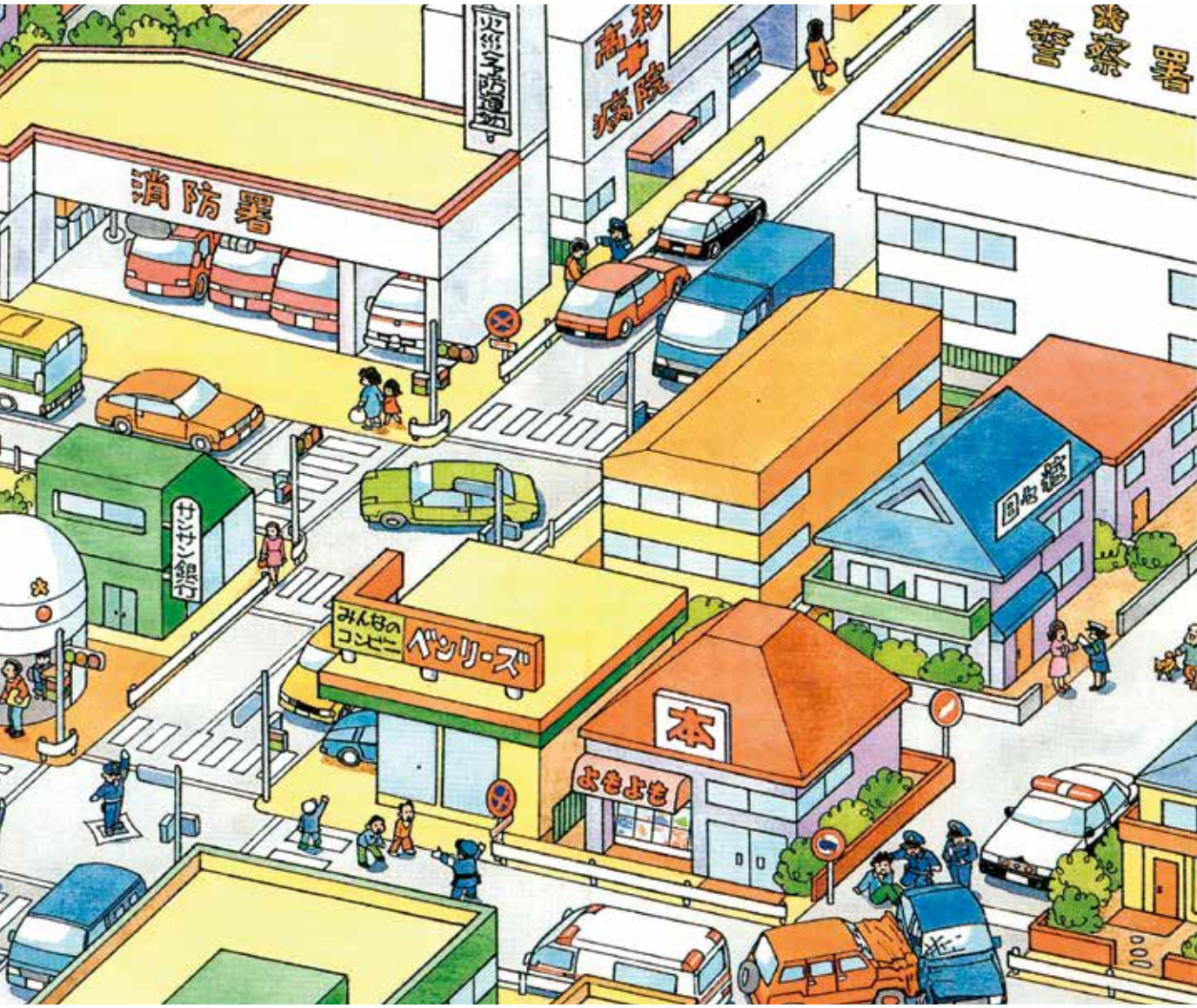
2 事故や事件からくらしを守る



「けいさつの人は，どんな仕事をしているのかな。」

「けいさつの人は，いろんな仕事をしているんだね。」

「みんなの安全を守るためのものがたくさんあるわ。」



社会科資料集４年（光文書院）

学習問題（がくしゅうもんだい）

事故や事件からわたしたちの安全を守るために，だれがどのようなはたらきをしているのでしょうか。

交番のおまわりさんは，どんな仕事をしているのでしょうか。

◉交番で働くおまわりさん

そうまさんたちは，おまわりさんが，町の中で，どのような仕事をしているのか聞いてみることにしました。

「交番にいるおまわりさんは，どんな仕事をしているのかな。」

「交番には，どんな用事でくる人がいるのかな。」

パトロールカー

交番用オートバイ

門川交番のおまわりさんの話

わたしたちのおもな仕事は，事故がおきた時のしょり，地域のパトロール（見回り），落とし物の相談などです。事故や事件が起きたときは，日向けいさつしょと協力して仕事をしています。

事故や事件がなく，安心してくらせる門川町になることを願って，毎日仕事にはげんでいます。

門川交番のおまわりさんの１日

午前８時
地域の人たちと協力して交通しどうをします。

午前 10 時
地域に住んでいる人の家をまわって，お話をします。

午後１時
パトカーに乗って，町内のパトロール（見回り）をします。

午後４時
交番で落とし物をうけつけます。落とした人が来たら，返します。

午後７時
道にまよった人に道を教えたりします。

午後 11 時
夜にも，町の安全を守るためにパトロールします。

そうまさんたちは，交通安全のためのけいさつの仕事について，調べてみることにしました。

白バイ

事故しより車

◉交通事故がおきたら

「交通事故がおきたら１１０番するんだよね。」

「でも１１０番すると，どこに連らくされるのだろう。」

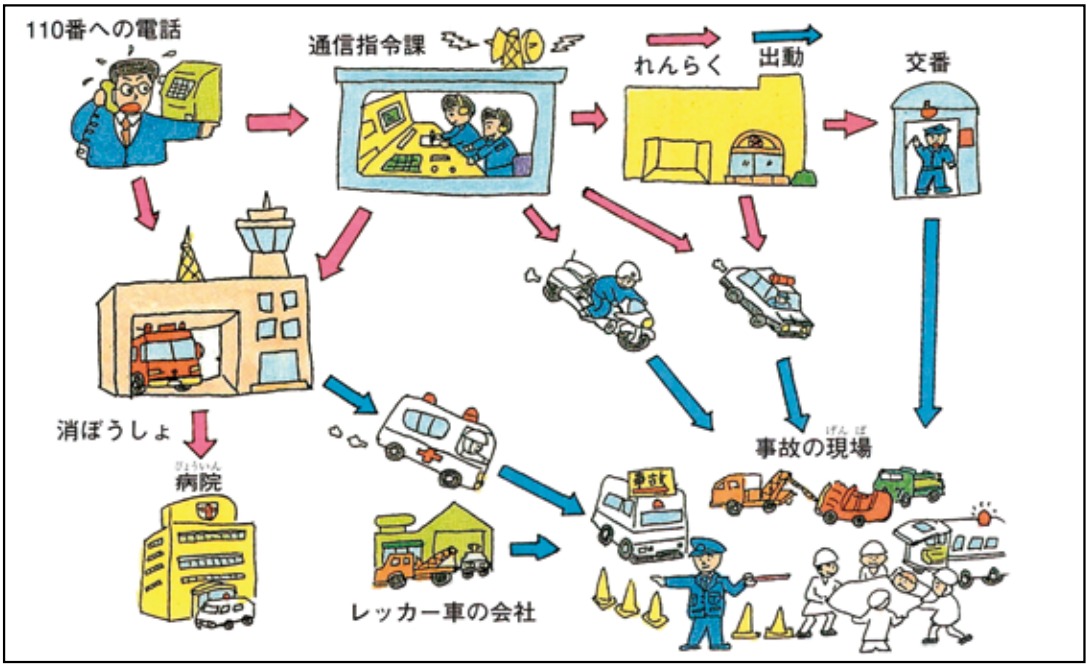
そうまさんたちは，日向けいさつしょの人に，１１０番のしくみについて聞いてみることにしました。

日向けいさつしょの人の話

１１０番の電話は，すべて県のけいさつ本部通信指令室につながり，すぐに，近くのけいさつしょや交番に知らせます。無線でパトロールカーや白バイに知らせることもあります。知らせを受けたけいさつかんは，すばやく現場にかけつけます。事故の様子によっては，レッカー車，消ぼうしょなどほかの所にも連らくします。事故はいつおこるか分からないので，夜や休みの日も交代で仕事をしています。

通信指令課

レッカー車を使った作業の様子



事故がおきたときのれんらく図

110番したときに聞かれること

①何がありましたか。●事故？事件？
②いつですか。
③どこですか。
④はん人はいますか。●どんな人？●人数は？
⑤けが人はいますか。●どんな様子？
⑥あなたの住所，名前，電話番号は。

宮崎県警キャラクター
みやけいちゃん

交通事故から人びとのくらしを守るために，けいさつの人たちはどんな仕事をしているのでしょうか。

◉交通事故をふせぐために

日向（ひゅうが）けいさつしょの人は，交通事故をふせぐための仕事についても話をしてくださいました。

日向けいさつしょの人の話

けいさつしょは，交通事故をふせぐために，しどう，取（と）りしまり，安全（あんぜん）のための教育（きょういく），という３つの仕事をしています。学校で行う交通安全教室は，安全のための教育の仕事のひとつです。

また，交通事故をふせぐための活動（かつどう）は，けいさつと町の人たちと協力して取り組んでいます。

交通安全教室

交通安全のしどう

「けいさつの人のほかにも，交通事故をふせぐ活動をしている人がいるのかな。」

「役場（やくば）の人に聞いてみれば分かるかも。」

そうまさんたちは，門川町役場をたずねてみることにしました。

交通事故から人びとのくらしを守るために，町の人たちはどんな活動をしているのでしょうか。

門川町役場の人の話

役場では，交通事故をふせぐために，町の広ほう紙で交通安全のよびかけをのせたり，町の人たちに交通安全こう習会をしたりしています。また，けいさつなどと協力して，道路をなおしたり安全設備を整えたりすることもしています。

交通事故のない町づくりは，町民みんなの願いです。けいさつや学校，その他いろいろな町の人びとと，連らくを取り合って，計画的に町の交通安全を進めています。

門川町の広ほう紙

交通安全協会による交通安全しどう

交通安全こう習会

交通事故をふせぐために，町にはどんなものがあるでしょうか。

◉道路の安全の工夫

「ぼくは，学校に来るとき，いつも歩道橋をわたるよ。」

「歩道橋は，みんなの安全を考えて作られたものだね。」

「ほかにも安全を守るためのものはあるのかな。」

そうまさんたちは，安全を守るためのものがないか，学校のまわりをさがしてみました。

カーブミラー

ガードレール

時間が決められているのは，なぜだろう。

スクールゾーン

安全な町づくりのために

日向けいさつしょの生活安全課の人は，安心・安全な町づくりについて話をしてくださいました。

生活安全課の人の話

地域のみなさんが困ったときに，最初にかけつけるなど，みなさんの一番近くで活動するのがわたしたちの仕事です。安全で安心な生活を守るために，昼も夜もパトカーやバイクで，みなさんのお家の周りのパトロールをしています。また，みなさんのお家を訪問して，困ったことがないかを聞いて，困ったことがあれば，一つ一つ解決して，みなさんの安全で安心な生活を守っています。

防犯カメラ

おたすけハウスのステッカー

門川町役場の人のお話

門川町には，青少年を守る活動をする「町の見回り隊」の方々がいらっしゃいます。青少年が安全に，安心してすごすことができるように，様々な活動をしてくださっています。普段は別の仕事をされている方もいます。見回り隊のお仕事は，自転車の乗り方のしどうや町内のそうじ，駅周辺のパトロール等です。

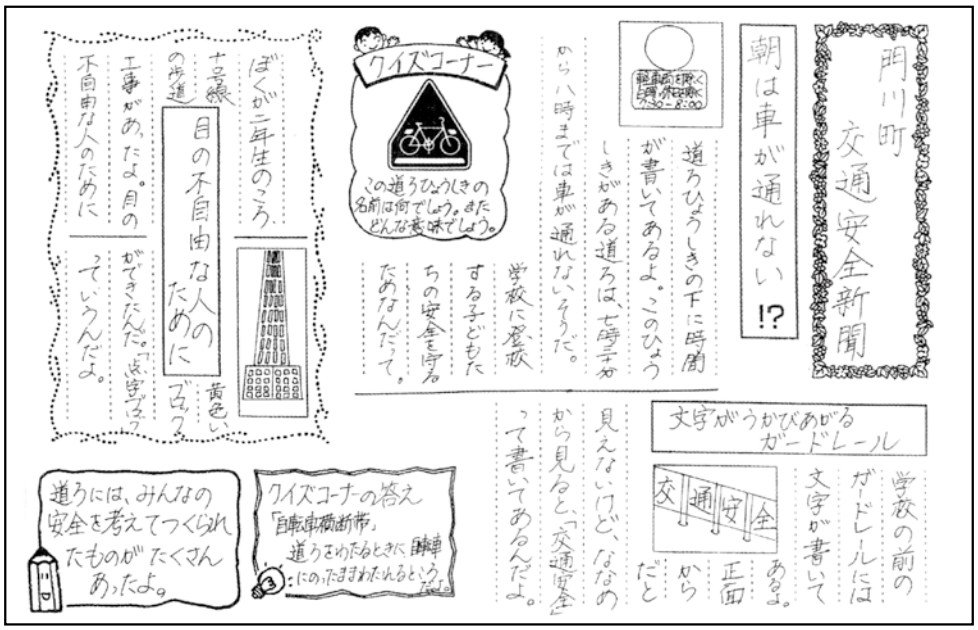
入学式前には，カーブミラーのそうじもしています。１年に１回，意見交換会も開いています。小・中学校，高校の先生達とも情報交換して，よりよい活動ができるようにしています。

カーブミラーのおそうじ

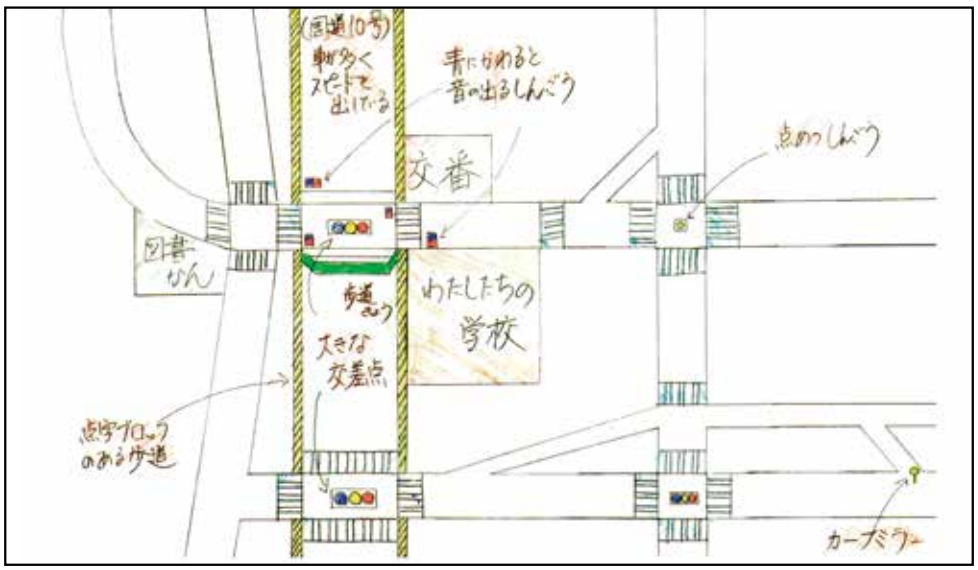
地域の防犯パトロール

まとめよう

「ぼくは，安全（あんぜん）を守るためのものを新聞にまとめてみました。」



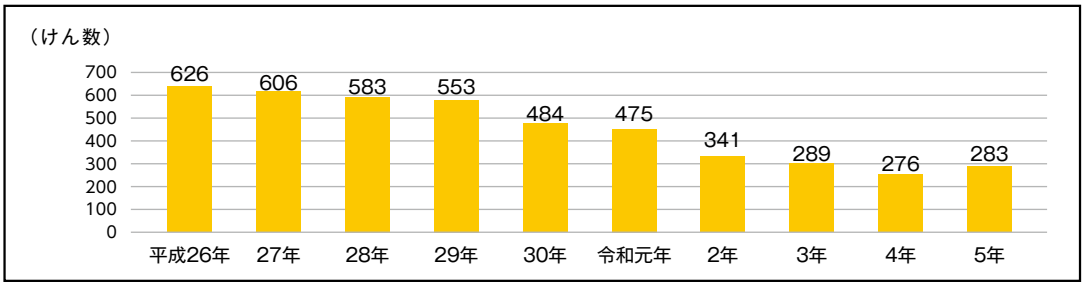
「わたしは，交通安全マップを作ってみました。」



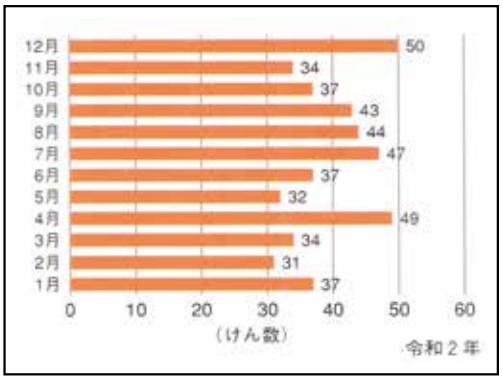
調べてみよう

◉グラフで見る交通とうけい（日向けいさつしょ）

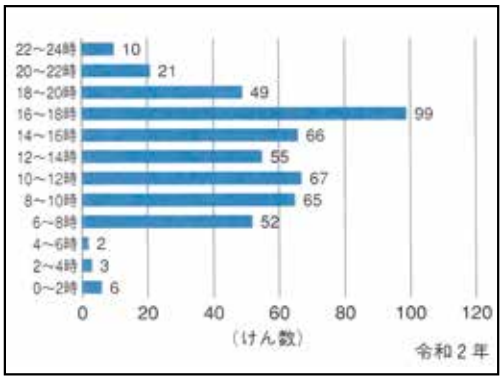
交通事故の年別けん数（月べつ）



交通事故の起きた数（月べつ）



交通事故の起きた数（時間べつ）



◉かん係きかんの住所・電話番号

宮崎県けいさつ本部　〒880-8509　宮崎市旭 1-8-28　ＴＥＬ（０９８５）３１－０１１０

日向けいさつしょ　〒883-0052　日向市鶴町 2-1-13　ＴＥＬ（０９８２）５３－０１１０

門　川　交　番　〒889-0611　門川町大字門川尾末 8600-31

◉学習のさん考になるホームページアドレス

・宮崎県けいさつ本部

http://www.pref.miyazaki.lg.jp/police/

・新潟県けいさつ子ども向け広報誌「おまわりさん」

https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kenkei/hikaru-corner-omawarisan-omawarisan.html

・兵庫県けいさつこどもけいさつ図かん

https://www.police.pref.hyogo.lg.jp/variety/kodomo/study/index.htm

・島根県けいさつキッズコーナー

http://www.pref.shimane.lg.jp/police/07_police_introduction/kids_corner/

・神奈川県けいさつキッズクラブ

https://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesa8011.htm

3 海の安全を守る

「海上保安庁をしっていますか。」

「海上保安庁はどのようなことをしてみんなの安全を守ってくれているのかな。」

◉海の安全を守る～海上保安庁のしごと～

日向海上保安しょ

そうまさんたちは，海上保安庁の人が海の上で，どのようなお仕事をしているのか，日向市にある日向海上保安しょの人に聞いてみることにしました。

日向海上保安しょの人の話

私たちの住んでいる日本は海にかこまれています。海ではみんなが食べる魚がとれたり，人やものを運んだりしているので，私たちの生活にとって，とても大切な場所です。海上保安庁は，この大切な海での安全や安心を守る仕事を毎日行っています。

海上保安庁は海上におけるけいさつでもあり，消ぼうでもあるのですよ。

火災船に放水し消火活動を行う様子

救助訓練の様子

◉近りんの海の安全を守るじゅんし船

宮崎県の海を守っているのは日南市に宮崎海上保安部，日向市に日向海上保安しょがあります。その中でも，日向海上保安しょでは，「しろかぜ」と「ほこかぜ」の２せきで，海上における犯罪の取り締りや事故ぼう止のためのパトロールをしています。

「しろかぜ」

「ほこかぜ」

日向海上保安しょの人の話

私たちは海上での活動のほかに，陸上でも海の安全を守る活動をしています。

たとえば，「きれいな海」を守るため，地元の小学生と海岸清掃を行ったり，海上環境教室を開いて，海の水が汚れる原因をみんなで考えたりしています。

4 門川町の移り変わり

わたしたちの身のまわりには，どのような古いものがあるでしょうか。

伝統料理

昔の道具

「日曜日にさかなずしを食べに行きました。新せんでおいしかったです。」

「その料理は，郷土料理というそうです。門川町に古くからのこる料理の一つだそうです。」

祭り・行事

尾末神社

「門川町には，料理のほかにも，古くからのこる道具，祭りや行事，文化財などがあります。古い道具を調べることで，昔の人のくらしの様子がわかるのではないでしょうか。」

わたしたちの身のまわりには，古くからのこるものがたくさんあります。学校や家など，身のまわりの古いものについて調べてみましょう。

学習問題

地域の人びとのくらしは，どのように変わってきたのでしょうか。

民俗資料展示室（みんぞくしりょうてんじしつ）

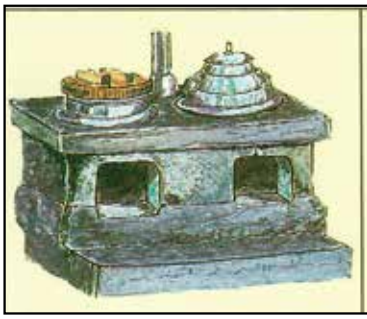
1 古い道具と昔のくらし

◉昔（むかし）の道具とくらしの変化（へんか）

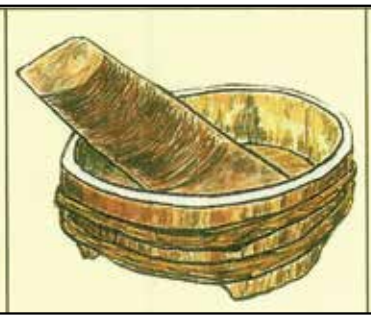
わたしたちのくらしは，昔とくらべてずいぶん変（か）わってきています。

先生が昔のくらしを知るために，上のような写真や実際（じっさい）に使（つか）われていた道具を見せてくださいました。

◉昔の生活で使われていた道具



かまど



せんたく板とたらい

ランプ

わたしたちの家の物置（ものおき）やおし入れをさがすと，今は使っていない昔の道具が出てくることがあります。

わたしたちのまわりには，どんな古い道具が残っているのでしょうか。

「この道具はどのようにして使ったのかしら。」

「なぜ，今はこのような道具がなくなったのだろう。」

「つくり方がかんたんだなぁ。これで大じょうぶなのかなあ。」

「これはおもしろい道具ね。今で言うと，どの道具にあたるのかなあ。」

学習ポイント

古い道具の使い方について考えてみよう。

古い道具を持ちよって，実際（じっさい）に体けんしてみよう。

民俗資料展示室（みんぞくしりょうてんじしつ）などで，古い道具を探（さが）してみよう。

学習の仕方アドバイス

古い道具を体けんしよう。
(せんたく板の体けん)
(1)体けんする前に
・古い道具についてよく知る人に,使い方を教わる。
・わからないことは質問する。
(2)体けんしてみよう
・せんたく板のみぞのむきに注意してせんたく物をこすりつける。
(3)体けんした後は
・後かたづけをする
・気づいたことを話し合う。

◉古い道具を体けんする

ひまりさんたちは，おじいちゃんやおばあちゃんからせんたく板を使ったせんたくの仕方を聞き，実際にせんたくをしてみることにしました。

「どうやって，よごれがおちているのかしら。」

「せんたく板のみぞの上にこすりつけるようにして，よごれを落とすんだね。」

「板にあるぎざぎざは，よごれを落とすためにあったんだね。でも，一つずつ手であらうから，たくさんせんたく物があると時間がかかってしまうよ。」

古い道具には，どのような工夫があるのでしょうか。

学習ポイント

昔，使っていた人に，使い方のせつめいを聞こう。

実際に使ってみて，わかったことや感じたことを話し合おう。

せんたく板であらっているとき，同じしせいでずっとせんたくをするのがとてもつかれました。これでは，あまりたくさんできないなあと思いました。

私もせんたく板であらうのは大変だと思いました。でも，手あらいだと，よごれている部分(ぶぶん)がよく分かり，集中(しゅう)してあらうことができるのはいいところだと思いました。

中央公民館の方の話

昔のせんたくはすべて手あらいで行っていました。冬など寒い時期のてあらいは，水が冷たく，とても手が痛(いた)かったです。でも，せんたく板でのせんたくは，みぞにせっけんのあわがたまるので，よごれがよく落ちるようにできているので便利(べんり)なんですよ。

また，昔のせんたくは手あらいで大変でしたが，一つ一つ気持をこめてあらっていたことが分かりますね。

「せんたくの仕方にも，いろいろな工夫(くふう)や変化があるんだね。せんたく板を使(つか)っていたころは，どんなくらしをしていたのかな。」

学習問題(がくしゅうもんだい)

古い道具を使(つか)っていたころの人々のくらしは，どんな様子(ようす)だったのでしょうか。

年代ごとのせんたくの仕方の移(うつ)り変わり

70年前

一枚ずつ手であらう。

↓

40年前

ローラーでせんたく物の水気を取る。

↓

現在(げんざい)

ボタン一つでせんたくできる。

昔の食事の様子（ようす）

◉昔のくらし

古い道具をつかっていたころの人々のくらしは，どんな様子だったのでしょうか。

ひまりさんは，昔のくらしについて知りたいと思いました。そこで，いっしょに住んでいるおばあさんに食事の様子（ようす）やすい事の様子について聞くことにしました。

こたつ

ひまりさんのおばあさんの話

わたしの子どものころは，今のようにいすはなく，みんな正ざをして食事をしていたよ。でも，ときどき足がしびれてね。また，食べ物をそまつにしてはいけないといつも言われていたよ。

冬はこたつでおじいさんの話を聞くのが楽しみだったよ。昔は今のようにテレビなんてなかったからね。

昔のすい事の様子

まき

井戸（いど）

昔

おかま

今

電気すい飯（はん）ジャー

ひまりさんのおばあさんの話

昔は台所（だいどころ）に水道もガスもなかったから，ご飯（はん）をたくのにまきを使っていたんだよ。おばあさんやおじいさんが子どものころは，井戸（いど）から水をくんだり，かまどの火をおこしたりするなどお手伝（つだ）いをよくしたもんだよ。

今は，スイッチ一つでご飯がたけて，便利（べんり）になったね。

展示室にある古い道具は，どのように使われていたのでしょう。

◉民俗資料展示室で昔のくらしを調べる

ひまりさんたちは，昔のくらしについてもっとくわしく調べるために，民俗資料展示室に見学に行くことにしました。

展示室には，昔の部屋がありました。

「部屋の真ん中に，いろりがあるよ。みんなでかこんだのかな。」

「古い道具がたくさんあるね。どんなことに使われていたのかな。」

中央公民館

ひまりさんたちは，館長さんからお話をうかがいました。

展示室の様子

館長さんのお話

この展示室は，昔の人たちがどんな道具を使って生活していたかを教えてくれます。昔の人たちは，生きるためにすばらしい工夫や努力をしていたかがよくわかると思います。

月　日

道具メモ

◎道具の名前
　かまど
◎使い方
　火をおこして，まきをくべる。

◎工夫
　ねつがうまくつたわるように少し丸い形になっている。

◎いつごろから使われていたか
　おばあさんが生まれる前から

◎しらべた場所・聞いた人
　館長さん

月　日

道具メモ

◎道具の名前
　ガスコンロ
◎使い方
　手前にあるコックを開いて，マッチで火をつける

◎工夫
　コックで火の強さをちょうせつできる。

◎いつごろから使われていたか
　おばあさんが子どものころから

◎しらべた場所・聞いた人
　館長さん

ひまりさんたちは，教室に帰ってから，見学して分かったことを話し合いました。そして，道具メモにまとめてみました。

「昔は，自分でかまどに火をおこして，食事を作っていたんだね。とてもたいへんだったんだなあ。」

「昔のミシンは，足を使って動かしていたんだね。今は電気で動くから便利ね。」

「でも，中には今使っている道具に近いものもあるね。道具はどのように変わってきたのかな。」

学習の仕方アドバイス

インタビューの仕方

・あいさつと自己しょうかいをする。
（れい）
○○小学校の△△です。
・見学の目てきをつたえる。
・道具の名前や使い方など，分からないことをしつもんする。
・展示物にさわっていいか，体けんできるか聞いてみる。
・話が終わったら，お礼を言う。

ことば

◆道具

わたしたちは，昔も今も，毎日のくらしの中でたくさんの道具を使っています。道具は，くらしをよりよく変えようとする人々の願いとともにかわってきました。

昔のミシンの様子

	100年前	50年前	今
	おじいさん，おばあさんが子どものころ	お父さん，お母さんが子どものころ	わたしが育ったころ
りょうり	火かげんに気をつけてじゅんびをしていた。	ガステーブルになって火かげんも自由になった。	電子レンジになってつめたい物もすぐにあたたまるようになった。
あかり	昔は，ランプで小さい光だった。	電きゅうで部屋の中が明るくなった。	けいこう灯でLED電球が増え、もっと明るくなった。
門川町の出来事	門川町に電とうがついた。草川小学校、門川小学校ができた。	門川中学校ができた。	国道10号ができて便利になった。	五十鈴小学校ができた。	門川町役場の新庁舎ができた。

道具はくらしをどのように変えたのでしょうか。

学習の仕方アドバイス

・一番上に横じくをつくり，左はしを100年前，右はしを今とする。
・くらしの移り変わりが分かるように，だれが子どものころだったか書きこむ。
・年表に調べた道具の絵や写真をはって，くらしの様子が分かる文を書く。道具メモをさんこうにするといいね。

◉くらしの移り変わり

ひまりさんたちは，調べたことをもとに，道具年表をつくることにしました。

「同じ役わりをする道具をならべると，昔と今のちがいがよくわかるんじゃない。」

「門川町のれきしもいっしょにまとめると，使っていたころのことがもっと分かりやすくなるね。」

学習ポイント

調べたことをもとに，道具年表をつくろう。

道具年表を見て，分かったことや考えたことを話し合おう。

ひまりさんたちは，できあがった道具年表を見て，人々のくらしと道具の移り変わりについて話し合いました。

「明かりもせんたくも，道具が変わって便利になったんだね。」

「自分たちの生活が少しでもよくなるように，ちえを働かせたり，工夫したりして道具は変わってきたんだね。」

「昔の人のちえやどりょくのおかげで，くらしが便利になってきたことが分かったよ。」

「うん。そうだね。みんなよりよい生活を願っていたんだね。道具の他にも，地域にのこる古いものを調べてみたいね。」

◆調べる方法◆

本で調べる

聞き取り調査をする

歴史資料館へ行く（民俗資料展示室）

インターネットで調べる

学習の仕方アドバイス

・学習したことからもっと知りたいことや調べてみたいことをまとめる。
・調べる方法や内容についてみんなで話し合う。

2 人口の移り変わり

◉人口の移り変わり

表　門川町の人口の変化　　国勢調査に基づく

年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年
人口	15540人	18533人	18894人	19287人	18854人	17379人

「門川町の人口はどう変わっているのかな。」

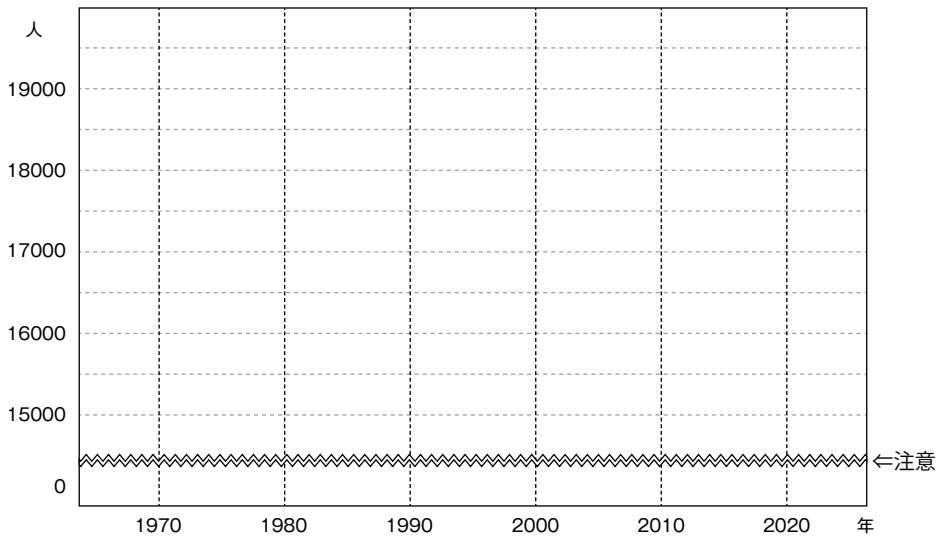
「1970年から2020年までの間の移り変わりがわかるわ。」

「50年間の移り変わりになるわね。」

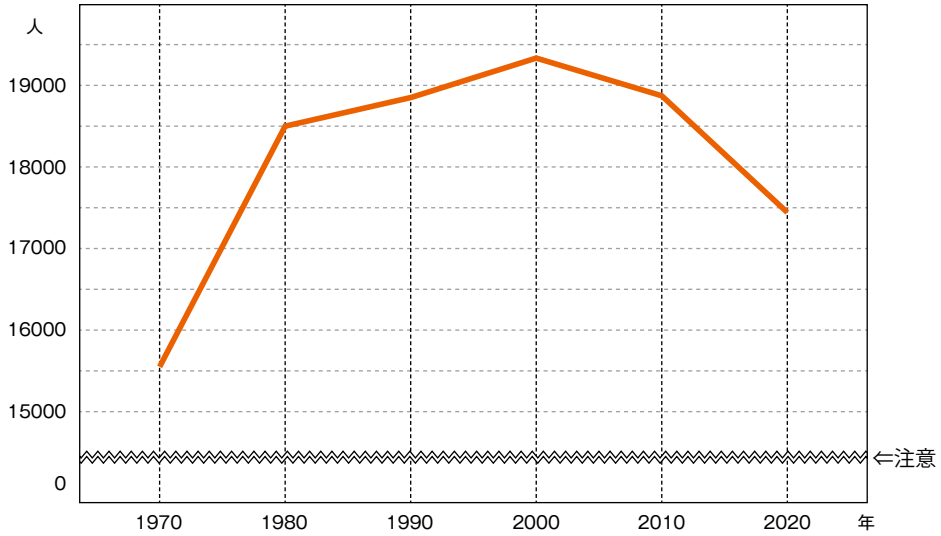
「でも，表だとわかりにくいなあ。どうしたらわかりやすくなるかな。」

「グラフに表すとわかりやすくなりますよ。上の**表**を**グラフ**に表してみましょう。」

グラフ　門川町の人口の変化



グラフ　門川町の人口の変化（折れ線グラフ）

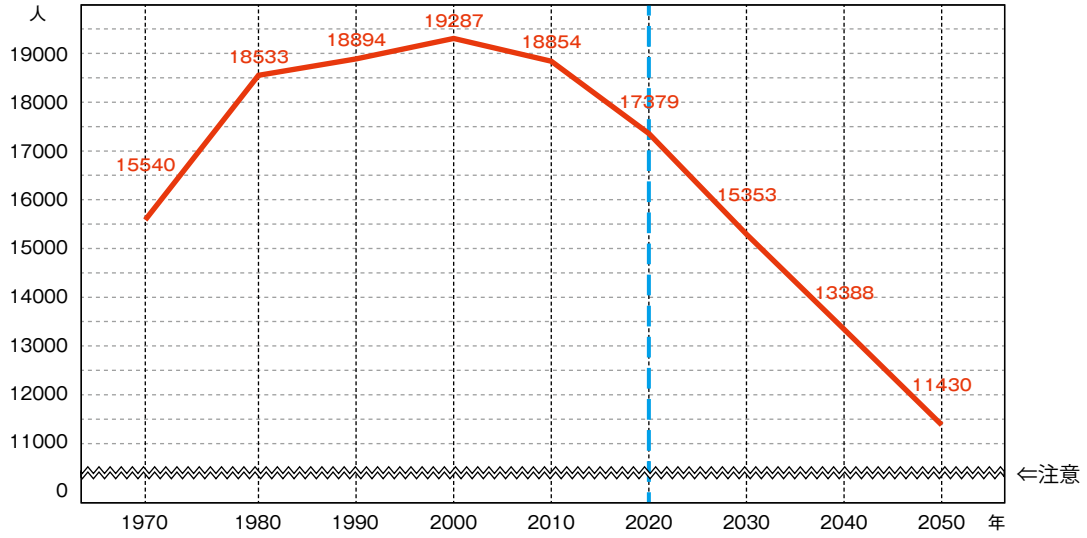


「**グラフ**に表すと分かりやすいね。2000年が一番多いことがすぐわかるよ。」

「これから門川町の人口はどう変わっていくのかしら。」

「こんな**グラフ２**を見つけたよ。」

グラフ２　門川町の人口の変化とこれからの予想

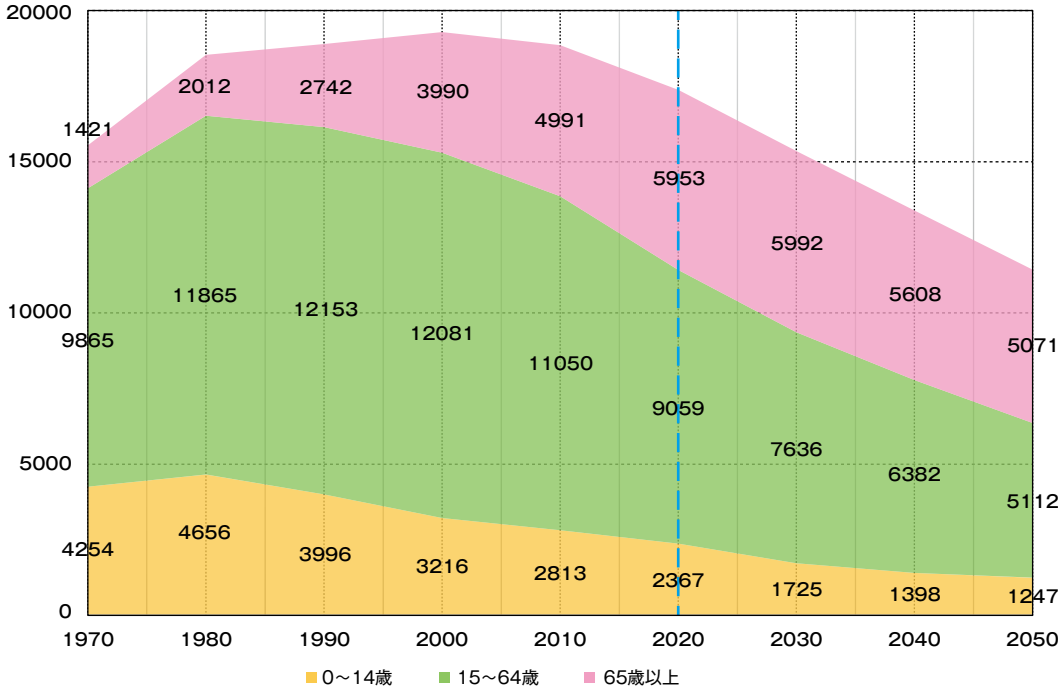


2020年までは『国勢調査』に基づく実績値、それ以降は国立社会保障・人口問題研究所による『日本の地域別将来推計人口（令和５（2023）年推計）』に基づく

「2020 年からも人口は減っていくようね。」

「先生はこんな**グラフ３**を見つけました。」

グラフ３　門川町の年代別人口の変化とこれからの予想（じく：たて＝人／よこ＝年）



2020年までは『国勢調査』に基づく実績値、それ以降は国立社会保障・人口問題研究所による『日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)』に基づく

「門川町の人口は，０～14歳の子どもや，15～64歳の人の数が減っていくんだね。」

「65歳以上の高れい者の数はあまり変わらないわ。」

「子どもが減り，高れい者が増えていくことを『少子高れい化』とよびます。門川町だけでなく，日本全体でも同じように変わってきています。

『少子高れい化』がすすみ，人口が減ると，私たちの生活はどう変わっていくでしょう。」

3 学校周辺の移り変わり

◉学校周辺の移り変わり

「次の写真は，門川町にある３つの小学校のある地域を，空からさつえいしたものです。左が今から40年ほど前，右が今の写真です。昔と今でどんなちがいがあるかさがしてみましょう。」

写真　門川小学校周辺

写真　草川小学校周辺

※　それぞれ写真中央の＋は，それぞれの小学校の運動場を示しています。

写真　五十鈴小学校周辺

「どの小学校のまわりも，田んぼが少なくなって建物が増えているね。」

「あれっ。五十鈴小学校がないわ。」

「ほんとね。五十鈴小学校はいつできたのかしら。」

「五十鈴小学校は，1984 年（昭和 59 年）の４月に開校したそうです。門川町で一番新しい学校ですね。」

「この写真，あと少しでぼくの家の場所が入っていたのにな。ぼくの家の場所は、昔どうなっていたんだろう。」

「大丈夫です。国土交通省の国土地理院のホームページで見ることができます。それではみんなで、自分の家のまわりの今と昔を見てみましょう。」

※　国土地理院ホームページ　　https://www.gsi.go.jp/top.html

◉インタビューをしてみよう

「これまで **グラフ** や **写真** で門川町の移り変わりをみてきました。

今度は家族や地域の人にインタビューをして，自分の考えたテーマで今と昔を比べてみましょう。」

「わたしは，どんなところで買い物をしていたのかをおばあちゃんにインタビューしてみよう。」

「ぼくは，となりのおじさんに、どこでどんな遊びをしていたのかを聞きたいな。」

学習の仕方アドバイス

インタビューの方法

○ インタビューで何を知りたいのかのテーマを決めましょう。

○ インタビューのしつ問を決めましょう。

○ インタビューの相手を決めましょう。

○ インタビューの相手にインタビューのおねがいをしましょう。

　● 時間・場所・内容を伝えましょう。

○ インタビューをしましょう。

　● 質問の順番・メモの準備

○インタビューに答えてくれたかたにお礼を伝えましょう。

　●直接会って・電話で・手紙で

◉門川町のこれから

「これまで資料やインタビューで、門川町の移り変わりを学習してきました。

みなさんは，これから門川町をどんなまちにしていきたいですか。また，そのために何をしようと考えますか。

自分の考えをまとめて，発表しましょう。」

「元気のあるまち」

そのために
門川のお祭りはとっても盛り上がるし，きれいな海や山，おいしい魚や農作物をいろいろな人にしょうかいしたい。

「おじいちゃんや おばあちゃんが 安心してくらせるまち」

そのために
今の生活で困っていることや，助かっていることを調べてみたい。

「自然さいがいに 強いまち」

そのために
避難訓練やぼうさい学習を地いきの人と一しょにやっていきたい。

「人口がへらないまち」

そのために
門川町の住みやすさの仕組みを調べたり，他の市町村がしていることを調べてみたい。

「まちづくりには，一人一人が『自分のまち』として考え，みんなで意見を出し合うことが大切です。しょう来の門川町をよりよいまちにしていきましょう。」

ー メ　モ ー

5 住みよいくらしをつくる

食事の後かたづけ

公園で水を飲む子ども

わたしたちは，水がほしいとき，水道のじゃ口をひねるだけで水を手に入れることができます。その分，たくさんの水を使(つか)うようになってきました。

また，何かを作ったり，後かたづけをしたりすると，必(かなら)ずごみが出ます。たくさんのごみが，道路のわきに集められているのを見かけ，びっくりします。このごみをそのままにしておくと町の中は，よごれてしまいます。

ごみがいっぱいおいてあるごみしゅう集所

ごみの不法投棄（ふほうとうき）

「学校や家庭の水は，どうやって送られてくるのかな。」

「水道の水がいつまでも出てくるのは，どうしてなんだろう。」

「たくさん集まったごみは，どこに行くのかな。」

学習問題（がくしゅうもんだい）

わたしたちの健康（けんこう）で住みよいくらしは，どのような人々のはたらきや，しくみでささえられているのでしょうか。

1 水はどこから

わたしたちは，水をどのくらい使っているのでしょうか。

◉わたしたちが使う水の量

そうまさんたちは，学校でよく使う水道について話し合いました。

「手あらい場の水道で，よく水を飲んでいるよ。」

「校しゃの周りの水道もよく使っているね。」

「校しゃの周りにも，水道のじゃ口があるのね。」

「トイレや理科室には，もっとたくさんじゃ口があるよ。」

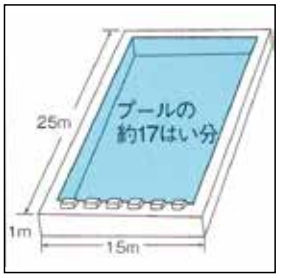
「学校には，ずいぶんじゃ口がありそうね。」

「学校には，どれくらいじゃ口があるのかな。」

そうまさんたちは，学校のじゃ口の数を調べてまとめることにしました。

学習の仕方アドバイス

1　予想をする。
2　じゃ口の数を調べる。
3　調べたものをまとめる。
4　わかったことをまとめる。



門川町で１日に使われる水の量

そうまさんたちは，自分たちで調べてまとめた資料をもとに，話し合いました。

「ずいぶんたくさんじゃ口があるんだね。」

「これだけたくさんじゃ口があるからたくさん水を使うんだね。」

「どのじゃ口も，水道管でつながっているね。」

「じゃ口から出る水は，どこからくるのかな。」

そうまさんたちは，水道の水がどこからくるのか調べることにしました。

学習問題

わたしたちの生活に欠かせない水は，どこでどのようにしてつくられ，送られているのでしょうか。

◆そうまさんたちの調べる計画◆

調べる計画を立てましょう。

そうまさんたちは，予想を立てて，調べる計画を作りました。調べる計画にはまとめる方法も書いておきました。

そうまさんの学習計画

○予想
川から水道を通ってじゃ口にくると思う。

○調べる方法
役場の人にインタビューして聞いてみる。

○まとめる方法
調べたことをイラストにしてみんなにしょうかいする。

ぼくは，絵をかくのがとくいだから，イラストにしてまとめることにしたよ。

五十鈴川の近くの大きな建物にひみつがあると思いました。

ゆなさんの学習計画

○予想
五十鈴川の近くに大きな建物があるのをみたことがあります。そこから水をすくいあげて，水道に水を流して，じゃ口までくると思います。

○調べる方法
役場の人に手紙を書いて，し料を送ってもらいます。

○まとめる方法
調べたことをパンフレットにしてみたいです。

役場の人にインタビューして調べる計画を立てたそうまさんは，必要なものを準備して，インタビューの仕方をおさらいしました。

役場の人に手紙を書く計画を立てたゆなさんは，調べ方の手びきを使って，手紙を書いてみることにしました。

インタビューの手びき

○自こしょうかい

こんにちは。わたしは○○小学校４年の△△△です。社会科で水道の水がどこからくるのか勉強しています。
いくつかおたずねしたいことがあります。

○インタビューすること

○学校の水道の水は，どこからくるのですか。
○どうやってきれいな水にしているのですか。

○お礼の言葉

ありがとうございました。

「計画ができたので，インタビューに行くよ。」

「手紙が書けたので，さっそく送ってみるわ。」

学習の仕方アドバイス

1　調べる方法を決める。
2　必要なものを準備する。
・メモ
・えんぴつ
・カメラ
など

学習ポイント

○手紙を書くとき，注意すること
・何につかうし料なのか，はっきりと書く。
・どんなし料が必要なのかわかりやすく書く。
・必ずお礼の手紙を書く。

○インタビュー行くとき注意すること。
・前もって電話をしておく
・場所，時間をたしかめておく。

計画ができたら，調べてみましょう。

学校のじゃ口は，どこにつながっているのでしょうか。

◉じゃ口の水が通る道

ひまりさんは，送られてきた資料を見て，水道の水がどこからくるのか調べました。

○水源地は小園地区にあります
○配水池は門川高校の西側の山の上にあります
○加草配水池も平成 18 年にできました

門川町の水が家庭に届くまで
門川町役場ホームページより

配水池（門川高校の西の高台にある。）

加草配水池

「水道の水は，五十鈴川の地下水からきているんだね。」

「くみあげられた地下水は，高台にある配水池にポンプで上げられるのね。」

「水道の水は，地下水をくみ上げて，配水管を通ってぼくたちのもとへ送られてくるんだね。

「どうやってきれいな水になるのかしら。もっとくわしく調べてみたいわ。」

ことば

◆配水池
消毒した水をためておく設備

◉きれいな水をつくるために

じょう水場では，どのようにして，水をきれいにしているのでしょうか。

ひまりさんたちは，どのようにして飲めるようなきれいな水にしているのか，役場の環境水道課の人にインタビューしてみることにしました。

役場の環境水道課の人の話

門川町の水道は，じょう水場の近くの６つの井戸からくみ上げた五十鈴川の地下水を使っています。この水はきれいなのですが，もしばいきんなどが入っていたらたいへんです。そのため薬を入れて消毒しています。消毒した水は，じょう水そうにためられます。

消毒は，機械を使って行います。

機械は１日中動いていて，計画的に消毒をするようになっています。

井戸や消毒，じょう水そうの様子などは，専用のパソコンやスマートフォンで知ることができます。

いつもきれいな水を送ることができるように，コンピュータで管理しているのです。

ことば

◆給水とじょう水

水を家庭や学校までとどけることを給水といいます。また，水を安心して飲めるようにきれいにすることをじょう水といいます。給水やじょう水の働きのおかげで，わたしたちは生活に欠かせない水を得ています。

〈じょう水場し設〉

7号 井戸

薬品注入室

コンピュータ室

配水池

送水ポンプ

「コンピュータでしっかりと管理されているんだね。」

「きれいな水が使えるように工夫されているのね。」

ことば

◆水質けんさ

水道の水質は，水道法という法りつで決められています。飲んでも体に害がないかというきじゅんをつくり，じょう水場で，細きん，にごり，におい，有害物しつをけんさします。水道の水は，こうしたけんさを受けた安全なものです。

◉かんい水道し設

配水管のとどかないところの水道は，どうなっているのでしょうか。

ひまりさんたちは，調べてまとめていくうちに，水道の配水管が西門川地区まで続いていないことに気づきました。

「西門川のおばあちゃんの家には水道があるわよ。」

「役場の環境水道課の人に，もう一度聞いてみよう。」

〈かんい水道し設〉

大原じょう水場

薬注室

送水ポンプ

役場の環境水道課の人の話

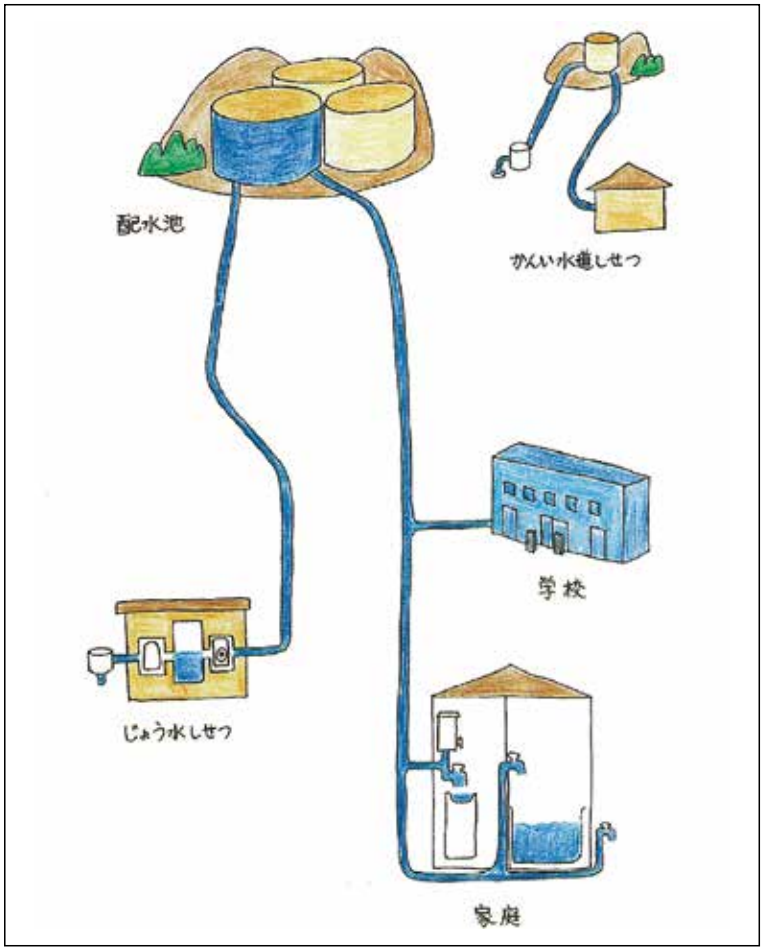
門川町内のすべての地区には，このような水道の仕組みが広がっていません。それは，配水池から遠いなどいろいろな理由があります。

そこで町では，西門川地区にかんい水道し設をつくっています。これは，その地区にしか使えない水道です。かんい水道も五十鈴川近くの地下水をくみ上げて，高台までポンプで上げて，それぞれの家に水を送る仕組みになっています。

かんい水道のし設の様子も専用のタブレットパソコンで知ることができます。

ひまりさんたちは，今まで調(しら)べて分かったことをまとめてみました。

上井野配水池



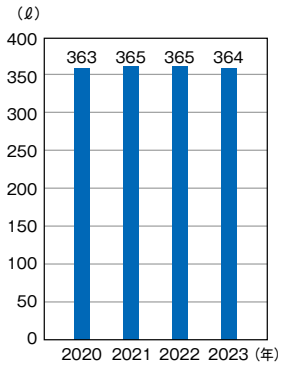
ひまりさんのまとめ

「水は，きちんと整(ととの)えられた水道の仕(し)組みを通って，ぼくらのもとにとどけられるんだね。」

「いつもきれいな水がわたしたちのもとにどとくように，いろいろな工夫(くふう)がされているのね。」

◉水の使用量

水の使用量が増えても，だいじょうぶなのでしょうか。



1人1日に使う水の量（門川町）
※一般家庭以外の使用もふくむ

先生が「1日に使う水の量」を表す表を見せてくださいました。

「毎日，こんなにたくさんの水を使っているんだね。」

「飲み水が一番多いのかしら。それとも，もっとほかのことで水を使っているのかしら。」

ひまりさんたちは，どんなところで水が使われているのか話し合いました。

「飲み水だけでなくて，花を育てるときにも使うよ。」

「工場でものを作ったり，スーパーマーケットで野菜をあらったりするときにも水を使うわ。」

「公園のふん水や池などにも水が使われてるよね。」

わたしたちは，いろんなところで水を使っています。よりよい生活をするために，これからも水を大切に使っていかなければならないと思います。

「町ではどんな計画を考えているのかきいてみたいわ。」

役場の環境水道課の人の話

町では，よりよい生活ができるように，計画的に水道のし設を整え，広げてきました。今では，町内どこでも安心して水が使えるようになりましたが，これからも水道しせつの整びなどが必要です。

最近では古くなった水道管を新しくしていますが，作り直すときには地しんに強い水道管を使って工事を進めています。

ことば

◆じょう水場

きれいな水をつくる工場の役目を果たしています。最近は，「より安全で」「おいしい」水をつくることにも力を入れるようになってきました。そのために，機械やせつびのくふうだけでなく，働く人もいろいろなくふうをしています。

じょう水場
（平成15年完成門川町）

水源涵養保安林

水源の森には，どのようなはたらきがあるのでしょうか。

◉森林のはたらき

「こんなにたくさん水を使っていくと，地下水がなくなってしまわないかな。」

そうまさんたちは，水道の水に使う地下水がなくなってしまわないかと思い，先生にたずねてみました。

ことば

◆水源涵養保安林
河川の下流の水の量を調節するはたらきがあると期待されて，指定された森林

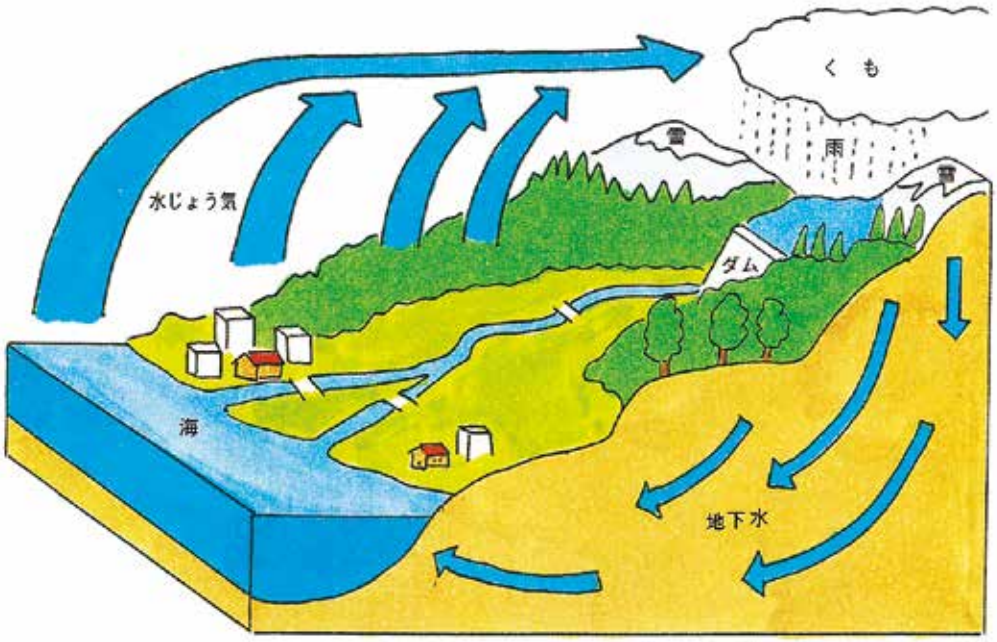
先生の話

森林は，雨水をたくわえ，ゆっくりと水を流し出す役わりをもっています。

また，たくわえられた水は少しずつ地下にしみこみ，豊かな地下水となります。

その地下水は，みんなの使う水道の水にもなるのですね。

このような森林には「水源涵養保安林」として県が指定している森林もあります。



水のじゅんかん

先生の話

わたしたちは，水を手にいれるために森林のはたらきまで利用しているのです。

わたしたちの水源を保つために，森林を大切にしたり，ダムをつくったりしているのです。

水源は，ほかの町にあります。ですから，ほかの町とも協力して，計画的に取り組んでいるのです。

「だから，ほかの町とも協力しているんだね。」

「森林って，ほんとうに大切なんだね。」

ことば

◆水源の森

日本は，水が手に入りやすい国といわれています。その理由の一つに，ゆたかな森にめぐまれていることがあげられます。水源の森を守ることは，わたしたちのくらしを守ることにもつながっています。

◉大切な水のために

かぎりある水を使い続けるために，わたしたちは，どんなことができるでしょうか。

そうまさんたちは，これまでの学習を生かし，健康で住みよいくらしと，大切な水のために自分たちにどんなことができるのか，話し合ってみました。

「節水をよびかけるポスターを見たことがあるわ。」

「地球の水の量はかぎりがあるのだから，水はこれからも大切に使いたいね。」

「外国では，水道のない国もあると聞いたことがあるわ。」

「日本は，水が少ない国に，井戸をつくる手伝いをしているそうだよ。」

「わたしたちは，今日からさっそく，節水に心がけてみるわ。」

水道のない国

作ったポスターをはる

「まだ，ぼくたちにもできることが，いっぱいありそうでね。」

「かぎりある水を，これからも大切使っていきたいわね。」

そうまさんたちは，学習を通して，水が必要なときに必要な量だけ使えるように，さまざまなことが計画的に進められていることがよく分かりました。

2 ごみのしょりと利用

写真を見て気づいたことを発表しましょう。

◉たくさんのごみ

そうまさんたちは，写真を見ながら，学級のみんなとごみについて話し合いました。

「上の写真の横には，かん板のようなものがあるよ。」

「ごみも落ちていなくて，きれいにしてあるね。」

「２まいの写真とも，同じ場所みたいだね。」

「下の写真では，たくさんのごみが出してあるね。」

「何のごみが入っているか，中が見えるようになっているね。」

「ごみには，いろいろな種類があるんだね。」

学習ポイント

ごみを種類ごとに分けてみよう。	門川町のごみの量について話し合ってみよう。	ごみを分ける理由を考えてみよう。

門川町民一人が１年間にだすごみの量（2023 年）

ごみを分ける

そうまさんの住む門川町では，いろいろな種類に分けて，ごみを出しています。

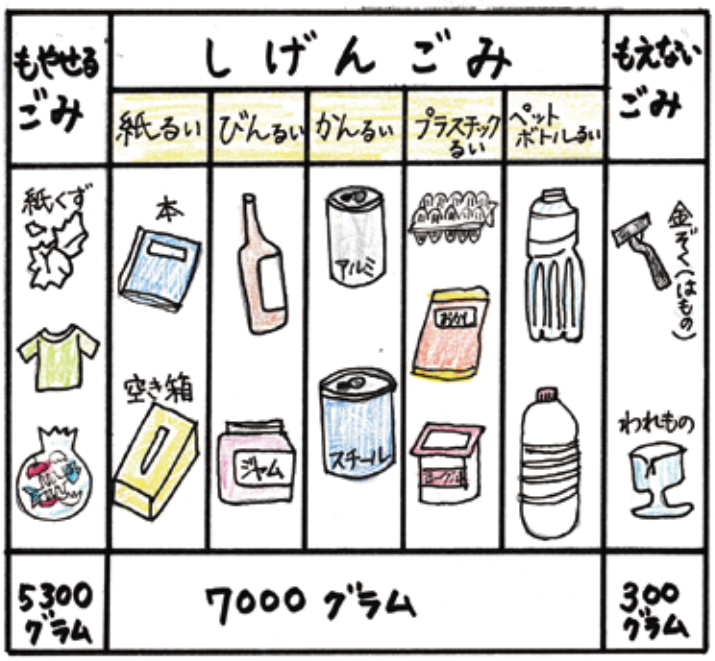
門川町のごみの集め方

もえるごみ	毎週月・木曜日 毎週火・金曜日	町全体を２地区に分けて集めている。
しげんごみ（プラスチック類）	毎週木曜日 毎週金曜日	町全体を２地区に分けて集めている。
しげんごみ（リサイクル品）	毎月第２水曜日 毎月第４水曜日	町全体を２地区に分けて集めている。
しげんごみ（ペットボトル）	毎月第３水曜日	町のすべての地区で集めている。
もえないごみ	毎月第１水曜日	町のすべての地区で集めている。

家から出るごみについて調べる

家からは，どんなごみが出ているのでしょうか。

そうまさんは，家から出る１週間分のごみの種類と量を調べて分けてみました。



そうまさんの家の１週間分のごみの種類と量

そうまさんたちの地区のごみの出し方

（1）　ごみの出し方

○　もえるごみ
○　もえないごみ
○　しげん物（リサイクル品）
} 分けて出す

（2）　出す日

○　もえるごみ……毎週月曜日・木曜日
○　もえないごみ……毎月第1水曜日
○　しげんごみ……毎月第2水曜日
※　プラスチック製容器包装……毎週金曜日
※　ペットボトル……毎月第3水曜日

（3）　出す時間

○　どのごみも，午前8時30分まで

（4）　気をつけること

○　とう明のごみぶくろに入れて出す。
○　そ大ごみやきけんなごみは出さない。

「ごみの出し方にも，いろいろな決まりがあるんだね。」

「ごみは，どんなところでしょ理されているのかな。」

学習問題

わたしたちのくらしの中から出されるごみは，どのようにしょりされたり，再利用されたりしているのでしょうか。

わたしたちが出したごみは，どのように集められているのでしょうか。

◉ごみを集める

ごみ置き場には，周りの家から出されたごみが山のように積まれています。しばらくすると，ごみしゅう集車が，ごみを集めにやってきました。仕事が終わるのを待って，ごみ集めのことをたずねました。

しゅう集作業をする人の話

門川町ではもえるごみは一度町内の清掃工場へ運ばれてから日向市にある日向東臼杵広域連合清掃センター（日向清掃センター）へと運ばれます。もえないごみとしげんごみは町内の清掃工場へ運びます。朝早くから，ごみステーションとの間を何回もおうふくするので，とてもいそがしいです。いちばん守ってほしいことは，もえるごみ，もえないごみ，しげんごみにきちんと分けて，決められた曜日と時間に出すということです。それから，ごみをしげんとして利用することは，増え続けるごみを減らすことにつながると思います。

学習ポイント

ごみ置き場を見学してみよう。	ごみを集める人の工夫や努力について考えよう。	分別して集めたごみのゆくえを確認してみよう。

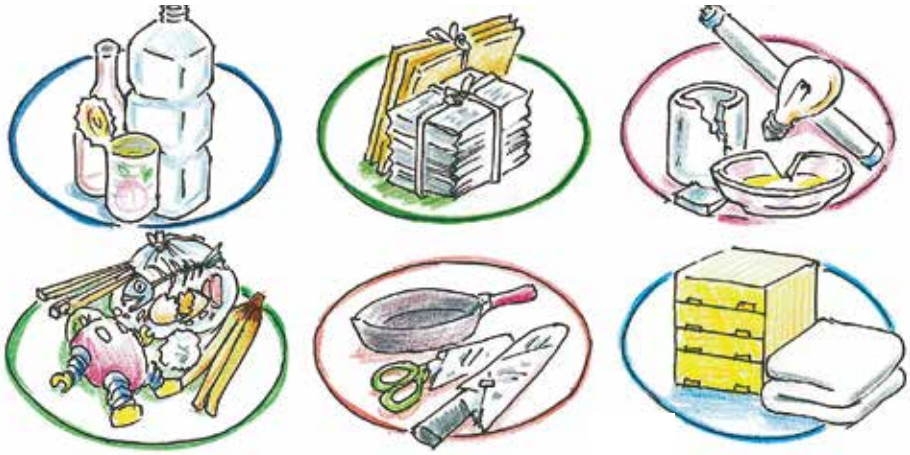
〈そうまさんのメモ〉

○もえるごみ　→門川町清掃工場→日向清掃センター
○もえないごみ　→門川町清掃工場
○しげんごみ　→門川町清掃工場
（種類によっては，日向清掃センター）
※もえるごみ，もえないごみ，しげんごみに分けて出す。
※決められた曜日と時間に出す。

はるとさんたちは，『ごみステーション（ごみ置き場）』のかん板を見ると，門川町全体ではどのようにごみを集めるのか，知りたくなりました。

そして，さっそく役場に行って調べました。

ごみステーションのかん板



◆はるとさんたちの調べる計画◆

見学する前に，調べたいことを整理していきましょう。

「ごみの出し方が書いてある町のチラシも参考にできるかもしれないね。」

「ジュースを飲んだ後のカンやペットボトル，そして新聞紙や段ボールはどうなっているのかな。」

「冷ぞう庫や家具などの大きなごみはどうなるのだろうか。」

学習の仕方アドバイス

【見学の仕方】

○案内してくださる人のお話を真剣に聞く。

○大切なことをメモに取る。

○絵や写真も活用する。

○分からないことは，質問する。

はるとさんは，友だちの意見を聞いて何を調べたいのか，整理しました。

【調べたいこと】

①しょ理するごみの量は，どのくらいか。

②何人の人が，働いているのか。

③工場では，どのような仕事をしているのか。

④ごみをどのようにしょ理しているのか。

⑤しょ理したごみは，どうなるのか。

⑥働いている人の工夫や願いは何か。

◉もえるごみのしょ理

もえるごみは，どのようにしょりされているのでしょうか。

もえるごみを調べるため，ごみしょりのある日向清掃センターを見学することにしました。

「えんとつが高いね。けむりはあまり出ていないね。」

「もえるごみのしょ理をするし設と，もえないごみをしょ理するし設があるんだね。」

日向清掃センターに着いたみんなは，さっそく係の人から話を聞きました。

ことば

◆公害

人の活動によって空気や土・水が汚れたり有害な物質が出されたりすることで，人や動物，植物が生きることに悪い影響がでること。

日向清掃センターの係の人の話

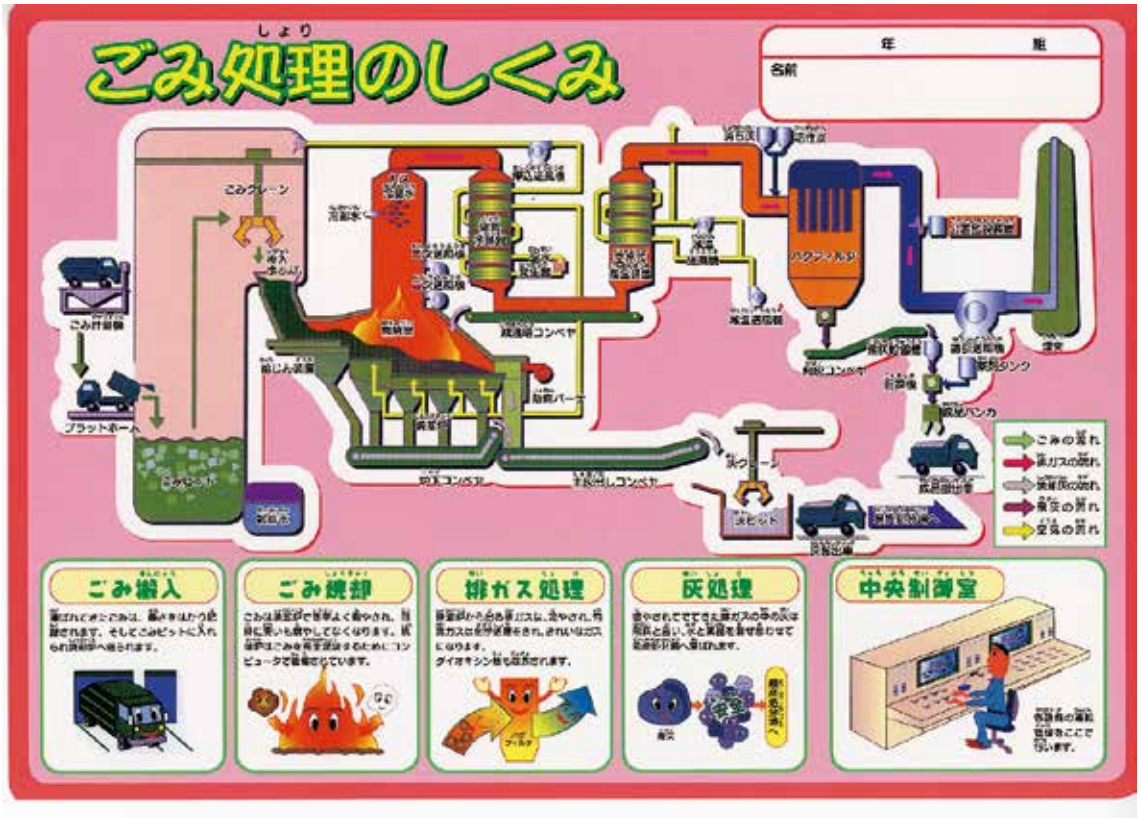
この清掃センターは平成３年にできました。前の工場の設備が古くなったことと，ごみを一度にたくさんしょ理できるようにするために大きくてりっぱな機械をつくりたかったこともあって，門川町と日向市が協力してつくったのです。もちろん，国や県の助けも受けました。今では，これらの市や町のほかに美郷町，諸塚村，椎葉村も入っています。気をつけたいことは，においやけむり，はい水などの公害を出さないようにしたことです。みなさんには，物を長く大切に使ったり，いらない物は買わないなどの工夫をして，家庭でのごみの量を減らすことをしてほしいですね。

「この清掃センターは，門川町だけでなく，ほかの町や村のもえるごみのしょ理もしているんだね。」

「ごみのにおいは，工場の外ではしないね。」

「清掃センターは，公害（こうがい）を出さないように，いろいろな工夫をしているんだね。」

〔日向清掃センターを利用している市町村〕



❶

■ごみ計量機

集められたごみの重さをはかり，記録します。

❷

■プラットホーム

集められたごみはプラットホームから入れられます。

❸

■ごみピット＆ごみクレーン

クレーンでごみをつかみ，しょうきゃくろに入れます。

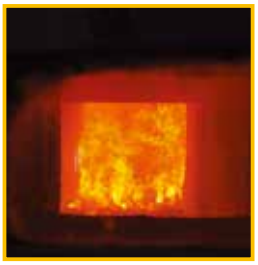
■中央制御室

ごみの量・もえる温度などをコンピュータ・テレビなどでかんしします。清掃センターのしんぞう部といえるところです。

■かねんせいそ大ごみ切断機

大きなごみは切だん機で切り，小さくして入れます。

■しょうきゃくろ（ストーカろ）



■しょうきゃくろの中

熱に強いレンガでできた大きなしょうきゃくろの中でごみはやかれ，ごみを送るスピードや空気を送る量を調節してごみを完全にもやします。

■バグフィルタ

ごみをもやした時に出るけむりから，空気をよごす物をとりのぞきます。

■ゆうがいガスじょきょそうち

人間や自然環境にゆうがいなガスをとりのぞきます。

■焼却灰の運ぱん

■最終処分場

「はたらいている人が少ないね。ほとんど機械だね。」

「こんなにきれいで，りっぱな施設だとは思わなかったなぁ。」

「いやなにおいやけむりを出さないように工夫されているんだね。」

みんなは，清掃センターには工夫されたいろいろな機械や設備などがあるんだなと思いました。

◉もえないごみの処理

もえないごみは，どのようにしょりされているのでしょうか。

はるとさんたちは，次にもえないごみのしょ理を調べるために，門川町清掃工場を見学しました。

「工場の中は，どのようなしくみになっているのかな。」

「ごみの出し方にも新しいきまりができているんだよね。」

ことば

◆家電リサイクル法

テレビや冷ぞう庫などの家電せい品を作った人・売った人・使った人が協力しあって，クリーンな社会をつくるために，部品などをリサイクルして使っていこうというきまりです。

門川清掃工場の人の話

清掃工場に運ばれたもえないごみのうち，かわら，ブロック，コンクリート類などは町外のうめ立て地にうめます。金ぞく類は，ふたたび利用できるようにリサイクルセンター へ運びます。

冷ぞう庫やテレビ，エアコン，洗たく機などは，「家電リサイクル法」というきまりができたので，平成 14 年から清掃工場では受け入 れていません。

増え続けるごみを減らすためにも，分別して，リサイクルできるように協力してください。

門川町せいそう工場

集められたもえないごみ

家具などの大きなごみ

【話し合ってみよう】

有料化してごみを集める地域もあります。なぜ，有料化するのでしょうか。

※　宮崎県内の市町村のなかには，市町村名の入った指定されたごみ袋でなければ，ごみをしゅう集してくれないところもあります。

しげんごみは，どのようにしょりされているのでしょうか。

◉しげんごみのゆくえ

はるとさんたちは，門川町清掃工場を見学して，空きカンをたくさん見つけました。さっそく，お話を聞くことにしました。

門川清掃工場の人の話

この清掃工場では，増え続けるごみを減らすために，カン，びん，紙を回しゅうしています。種類ごとにまざりものがないようにしっかりと分別しています。分別した後は，それぞれ業者さんにお願いしてリサイクルされます。

今までごみとして出されていた空きカンや空きびんも，分別すれば，新しい物に生まれ変わります。分別は手間のかかる作業ですが，かんきょうを守るためには大切なことです。

◉ごみがしげんに生まれ変わる

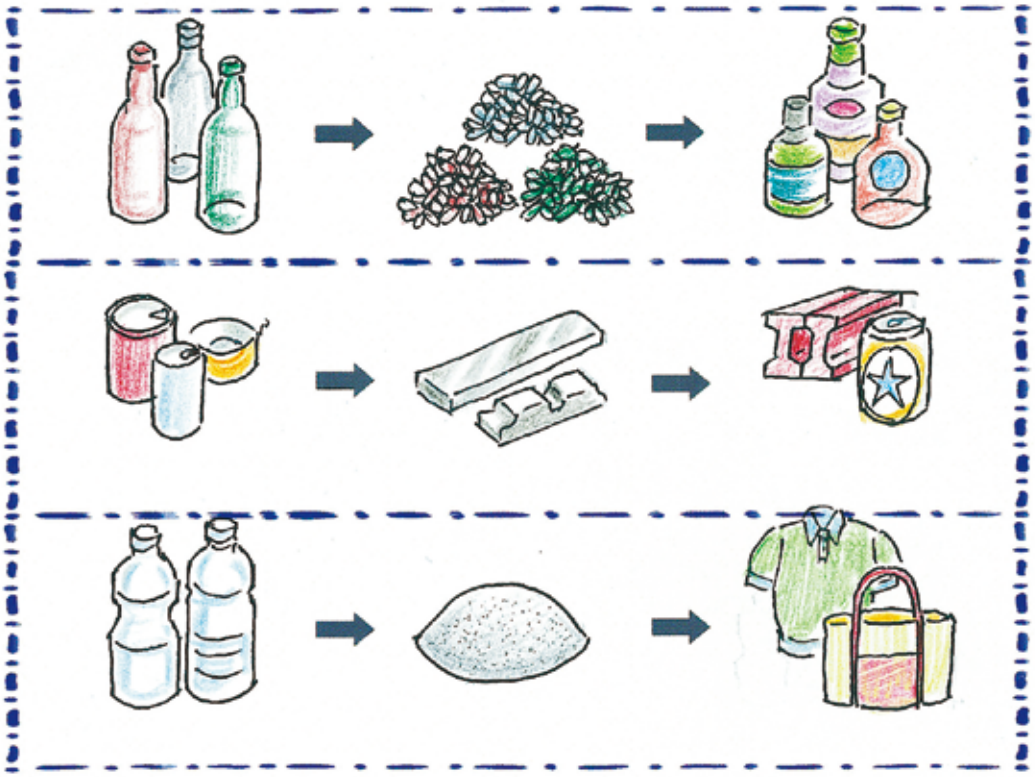
はるとさんたちは，しげんごみについて調べました。

「ペットボトルは，服やバッグなどに再利用されているんだね。」

「あきカンは，アルミやスチールごとに再利用されていくんだ。」

「あきビンは，こまかくくだかれて色ごとに原料としてふたたびビンに生まれ変わります。」

「テレビやエアコンなどの家電せいひんは，リサイクルされるきまり（家電リサイクル法）があるんだよ。」



むかしのごみのしょ理は，どのように行われてきたのでしょうか。

◉ごみのしょ理の移り変わり

はるとさんたちは，むかしのごみのしょ理のようすについて調べてみました。

60 年前

30 年前

いま

いまと昔では，生活の様子が変わってきたので，それに合わせて，ごみのしょ理の仕方も変わっていきました。

門川町役場環境水道課の人の話

昔は，ごみが少なかったので，ごみのしょ理は自分の家ですることができました。しかし，えい生面や公害問題などにより，自分の家でしょ理することができなくなりました。

40年くらい前に，門川町には，今の清掃工場ができていたので，もえるごみも門川町の清掃工場でしょ理していました。

今は生活も便利になって，使いすての物が多くなりましたがその分，ごみも増えてきました。これからは，エコバッグを使うなど，一人一人がごみを増やさないという気持ちをもつことが必要だと思います。門川町でも，ペットボトルなどを回しゅうして，リサイクルを進めていこうとしています。

昔の買い物

今の買い物

「ごみの分別が行われるようになったのは，最近のことなんだね。」

「きれいな社会をつくり，大切なしげんをむだにしないためにもごみを分別していくことが必要なんだね。」

【話し合ってみよう】

ごみをもっと減らし，これからもくらしやすい社会を続けていくためには，わたしたちには何ができるでしょうか。

環境を守るためには，わたしたちはどのようなことができるでしょうか。

◉ごみを減らす取り組み

はるとさんたちは，これまで学んだことを生かして，これからの社会とごみについて話し合いました。

「ぼくは，子ども会で空きビンを集めているよ。」

「わたしは，地区の人たちと地域のごみひろいをしているよ。」

「スーパーでは，白色トレイなどの回しゅう箱がおいてあったよ。」

「近所の食堂では，ごみをきちんと分別しているよ。」

しげんゴミの回収箱

ゴミを分別している場所

そして，学級のみんなで一人一人ができることを考え，まとめることにしました。

「エコバッグを持って買い物に行って，レジ袋をもらわないようにしているよ。」

「買い物では，必要な物しか買わないようにしていく。」

「食事は残さずきれいに食べるようにします。」

ことば

◆モッタイナイ

環境分野で初めて『ノーベル平和賞』を受賞（じゅしょう）したケニア人の女性のワンガリ・マータイさん。

マータイさんが，２００５年に日本に来た時に，日本人がむだづかいを止めてものを大切にしていくことが，かけがえのない地球を大切にしていくことにつながると「モッタイナイ」という言葉を使った国際環境を守る活動を行っています。

ことば

◆４Ｒ

ごみを減らすために４つの頭文字「Ｒ」をとってあらわしたもの。

○ Refuse（リフューズ）
：不要なものは買わない
○ Reduce（リデュース）
：ごみをへらす
○ Reuse（リユース）
：再利用する
○ Recycle（リサイクル）
：再生利用する

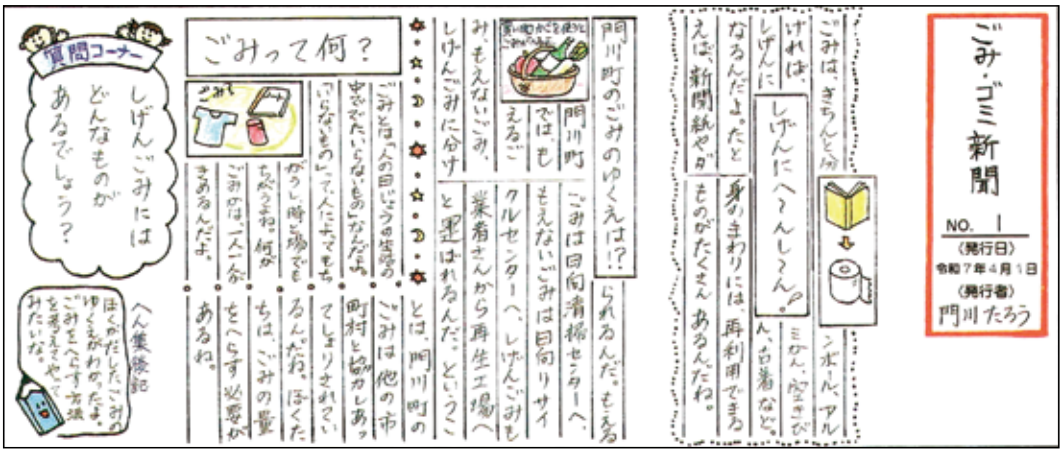
【話し合ってみよう】

みなさんの学校でも，環境を守るための活動を考えてみましょう。

学習したことをポスターや新聞にまとめよう。

◉学習のまとめ

「ぼくは，ごみについてまとめてみたよ。」



「わたしは，ごみを減らすためのポスターを作ったわ。」

◉ひろげてみよう

◉関係機関（かんけいきかん）の住所

日向東臼杵広域連合清掃センター	〒883-0034	日向市大字富高 2192
門川町役場	〒889-0696	門川町平城東１－１
門川町清掃工場	〒889-0611	門川町門川尾末 7456-4
ひゅうがリサイクルセンター	〒883-0063	日向市竹島町 1-86

◉学習（さんこう）の参考になるホームページアドレス

・環境省【こどものページ】
　http://www.env.go.jp/kids/

・(社) プラスチック処理促進協会
　http://www.pwmi.or.jp

・日本製紙連合会
　http://www.jpa.gr.jp/

6 郷土を開く

日蓮聖人像

◉地域の歴史にふれよう

門川町に住むゆなさんたちは，３年生で学習した文化財や祭りのほかに，地域のれきしに関係するものを，みんなで出し合いました。

「五十鈴川に行ったとき，川をせき止めるものを見たことがあるよ。」

「わたしも見たことがあるよ。すべり台のような形をしていたね。それと用水路もその近くで見たことがあるわ。」

勝蓮寺の天井画

小園いぜき

「勝蓮寺（しょうれんじ）というお寺には，九州最古（さいこ）の日蓮聖人像（にちれんしょうにんぞう）があるらしいね。」

「そのお寺の天井には絵が描（か）かれた板があります。これは岡部南圃（おかべなんぽ）という人やその弟子（でし）が描いたものみたいよ。」

わたしたちは，地域の歴史について，みんなでもっとくわしく調べることにしました。

小園(こぞの)いぜき

1 用水路を作る

「わあっ，とても広くて大きいね。水もどんどん流れているよ。」

「この川は，五十鈴川(いすず)っていうのよ。川はずっと続(つづ)いていて，周(まわ)りには田んぼも広がっているわ。」

「このいぜきは，いつごろ，どんな人たちが作ったんだろう。調(しら)べてみたいな。」

はるとさんたちはふしぎに思い，小園(こぞの)にあるいぜきをたずね，調べてみることにしました。

ことば

◆いぜき
川の水をせき止めて，水路(すいろ)を通して田畑に水を引き入れたり水の量を調節(ちょうせつ)するためのしせつ

記念ひ

この記念ひは，いぜきのそばに建てられています。

記念ひの位置

「あれっ，この記念ひの下に何か書いてあるよ。」

それは，およそ 270 年ほど前に，黒木甚六を中心に，小園いぜきと用水路が作られたことが書かれた記念ひであることが分かりました。

学習問題

黒木甚六たちは，どんなことを願い，どのようにしていぜきや用水路をつくったのでしょうか。

門川町立中央公民館

黒木甚六は，どんな気持ちから用水路をつくろうとしたのでしょうか。

◉人びとの願い

はるとさんたちは，小園いぜきと用水路のなかったころ，この地域の人びとはどんな生活をしていたのか，どんな願いをもっていたのか，調べることにしました。そこで，中央公民館をたずねて話を聞きました。

270 年前のくらし

- 台風や日照りの害で，思うようにお米がとれないこともあった。
- との様への年ぐは決まっていたので，大雨や日照りでお米が少ない年は，食べるのにもこまることがあった。

ことば

◆日照り
長い間，雨がふらずに，水がかれること。

ことば

◆年ぐ
農民がとの様におさめるお米などのこと。

中央公民館の人の話

今から 270 年ほど前，この五十鈴川ぞいの地域は五つの村に分かれていて，延岡はんのとの様が治めていました。それぞれの村には庄屋という村のまとめ役がいて，その全部をまとめていたのが大庄屋黒木甚六でした。人びとの代表となって，との様にお願いをしたり，村の争いごとをかい決したり，また，との様におさめるお米などを集めたりする大切な仕事をまかされていました。

はるとさんたちは，話を聞いて，昔の人びとの様子や願いをみんなで話し合うことにしました。

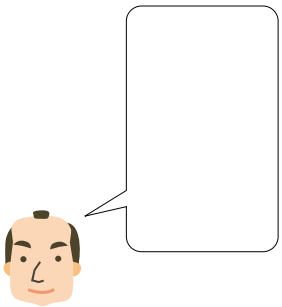
「台風や日照りの害で，お米を食べるのにもこまったことがあると聞いてびっくりしたわ。」

「昔はお米をおさめていたから，お米がとれないときは大変だったと思うよ。」

「生活を豊かにするために，畑や水田を広くすることは人びとの願いだったのね。」

「いぜきや用水路はどんなふうにして作られたのかな。」

村人の願いをふき出しに書いてみよう。



できごと年表

270 年前	・甚六たちがいぜきを開いたころ
200 年前	
150 年前	
120 年前	・門川小学校ができたころ
	・おじいさんが生まれたころ
50 年前	
今	・ひろしさんが生まれたころ

黒木甚六や人びとは，どんな苦労や努力をして，いぜきをつくったのでしょうか。

◉いぜきや用水路を作る

はるとさんたちは，いぜきがどんなふうにして作られたのか知りたいと思いました。そこで，黒木甚六のことにくわしい黒木さんを教室にまねいて，お話をうかがうことにしました。

工事の様子

黒木さんの話

いぜきづくりには，いろいろな苦労がありました。

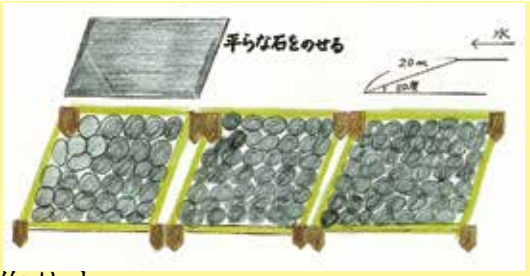
まず，たくさんのお金が必要です。甚六は自分の土地を手放して，どうにかお金をつごうしました。しかし，それでも足りなくて日向のお寺からお金を借りたこともありました。

また，工事は，川の水の量の少ない冬場を待って行われるので，冷たい水の中の作業は大変でした。

しかも，いぜきを作る小園の土地はすな地で，工事は思うようにはかどりません。甚六は，自ら進んでみんなの指きをとり，はげまして工事を進めました。

〈はるとさんのメモ〉

〈いぜきつくり〉
- 松ぐいを打ち込み，その中に石やねん土を入れるために木のえだや葉をあみつける「しばぜき」とよばれる作り方
- 大きくて平らな石をのせ，水が流れる工夫
- 上から下まで 20 度ぐらいの角度をつけるという工夫



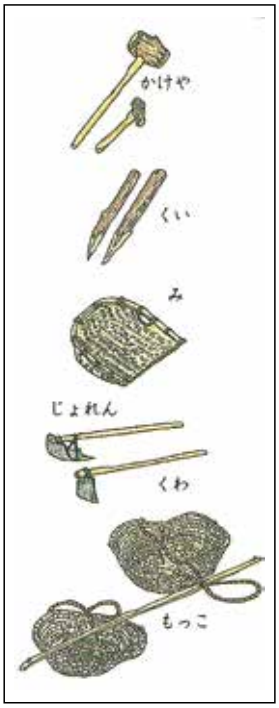
「今のように便利な機械はなく，ほとんど人の手で作っていたんだね。」

「大きな石や土を運ぶときは，重かっただろうな。」

「水が流れるように，いろいろな工夫がしてあったんだね。」

黒木甚六や長友倉右衛門，村の人びとの協力により，半年かかってようやくいぜきはでき上がりました。

はるとさんたちは昔の道具を見たり，さわったりしながら，昔の人びとの気持ちに近づいたような気持ちになりました。



工事に使った道具

用水路

◉いぜきと用水路の開発

いぜきや用水路ができて，人びとのくらしはどのように変わってきたのでしょうか。

できた用水路は地域の人びとのくらしを，どのように変えたのでしょう。

小園いぜきからは用水路が引かれ，水田約120町歩（120ヘクタール）に水を送りました。

「水が豊かになって，米もたくさんとれるようになったと思うよ。くらしも変わっただろうね。」

「日照りの害でも，こまることは少なくなったんじゃないかな。」

「広い水田に水が行きわたるようになって，人びとはとても喜んだでしょうね。」

おじいさんの話

人びとは，今も毎年２回，春と秋に「いぜき祭り」を行い，石ひのそばの水神様においのりをしています。

また，今でも用水路のそうじを行って，水路を大事にしているんですよ。

記念ひのそばにある水神様

「用水路は 270 年ほどたった今も，みんなから大事にされているのね。」

「今でも，みんなが力を合わせて用水路のそうじをしていると聞いて，びっくりしたよ。」

「手づくりのいぜきは，今までどうやって守られてきたんだろうね。」

はるとさんたちは，おじいさんから見せてもらった用水路の図を見て，今でも用水路が長くのびて，田や畑に水を送り続けていることがわかりました。

は受益地

用水路と水田の分布

いぜきと用水路は，どのように守られてきたのでしょうか。

◉いぜきや用水路を守る

先生の話

苦労して作りあげたいぜきでしたが，毎年大水が出るたびに，この手づくりのいぜきはこわれるところがでました。そのため，しゅう理も毎年のようにやっていかなければならなかったそうです。

先生に話を聞いたはるとさんたちは，いぜきを守った昔の人びとの話を集めてみました。

はるとさんは，役場の人に聞いたことをまとめました。

はるとさんのノート

・　代々の庄屋さん（のちには，区長さん）のかんとくのもと，ほ強の工事が行われた。

・　昭和 25 年に「水利組合」というものができ，今はそれが「土地改良区」と名前が変わり，その人たちが水を調節したりして，お世話をしてきた。

・　昭和 25 ～ 27 年の工事によって，今のコンクリートのアーチ式いぜきが完成した。めずらしいものだった。

はるとさんはひいおばあさんに，昭和25年の工事の様子を聞きました。

ひいおばあさんの話

今から90年ほど前，小園いぜきのしゅう理は行われ，わたしも工事に参加しました。

その当時は，機械といえばコンクリートをまぜるミキサーが1つだけで，あとはすべて手作業でした。あせだくになって1日働いたものです。

そのころの五十鈴川や用水路は，今よりももっときれいで，川えびやしじみもたくさんいました。また，用水路の水で食器や野菜をあらったりしながら近所の人たちとおしゃべりをするのも楽しい時間でした。

昭和27年
アーチ式いぜき完成記念ひ

用水路を利用する時に使った階だん

「いぜきや用水路は，田や畑にはもちろんのこと生活にも欠かせないものだったんだね。」

「昔の人びとの願いがこめられてつくられたものが，今もいろいろなところに残っているのね。」

黒木甚六（くろぎじんろく）が中心となってつくったいぜきと用水路や門川町の様子をながめ，ふるさとの歴史について考えよう

◉まちなみをながめる

ひまりさんたちは，門川町全体の様子が分かるような写真（しゃしん）を見ながら，ふるさとの歴史（れきし）と重（かさ）ねてみました。

「わあ，海が広がっているね。きれいだね。」

「道路やスーパーマーケットや鉄道も見えるね。空から見るといろいろなものが見えるよ。」

「わたしたちの学校もあんなに小さく見えるね。」

「広がる水田や用水路は，黒木甚六や地域の人々がつくったものだね。人はよりよいくらしを求めて，工夫してきたんだね。」

ひまりさんたちは，黒木甚六と用水路づくりの学習を終えて，みんなで紙しばいをすることにしました。

町にあるものを，じっくりと見てみよう。みんなで，地いきに残る歴史をさがしてみよう。

学習のまとめ

場面づくりを考えて，紙しばいをしよう。

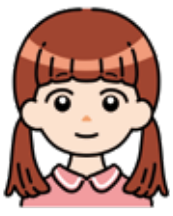
☆伝えたい内容について話し合ってみよう。

場面づくりはうまくできたか？	説明文が分かりやすくなっているか？	だれに見てほしいか？

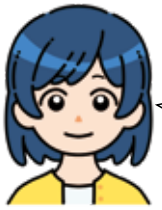
黒木甚六がいぜきと用水路を開発したのは，江戸時代のことです。台風や日照りで困っている地域の人々を救うことを考えました。

人びとの願い，いぜきと用水路の工事，完成したあとのくらしなどに分けて，場面をつくるといいね。

地いきの協力がないと，いぜきや用水路はでき上がりませんでした。また，今でも協力して，いぜきや用水路を守っています。



甚六が主役になると思うけど，村人たちや，との様など，それぞれの立場を考えて，せりふを作ろうと思います。



☆紙しばいを作ろう。

それぞれの場面の説明文を考えて，タイトルをつけて書いてみましょう。

場面「いぜきや用水路の工事」

1．いぜきや用水路のくふうや苦労

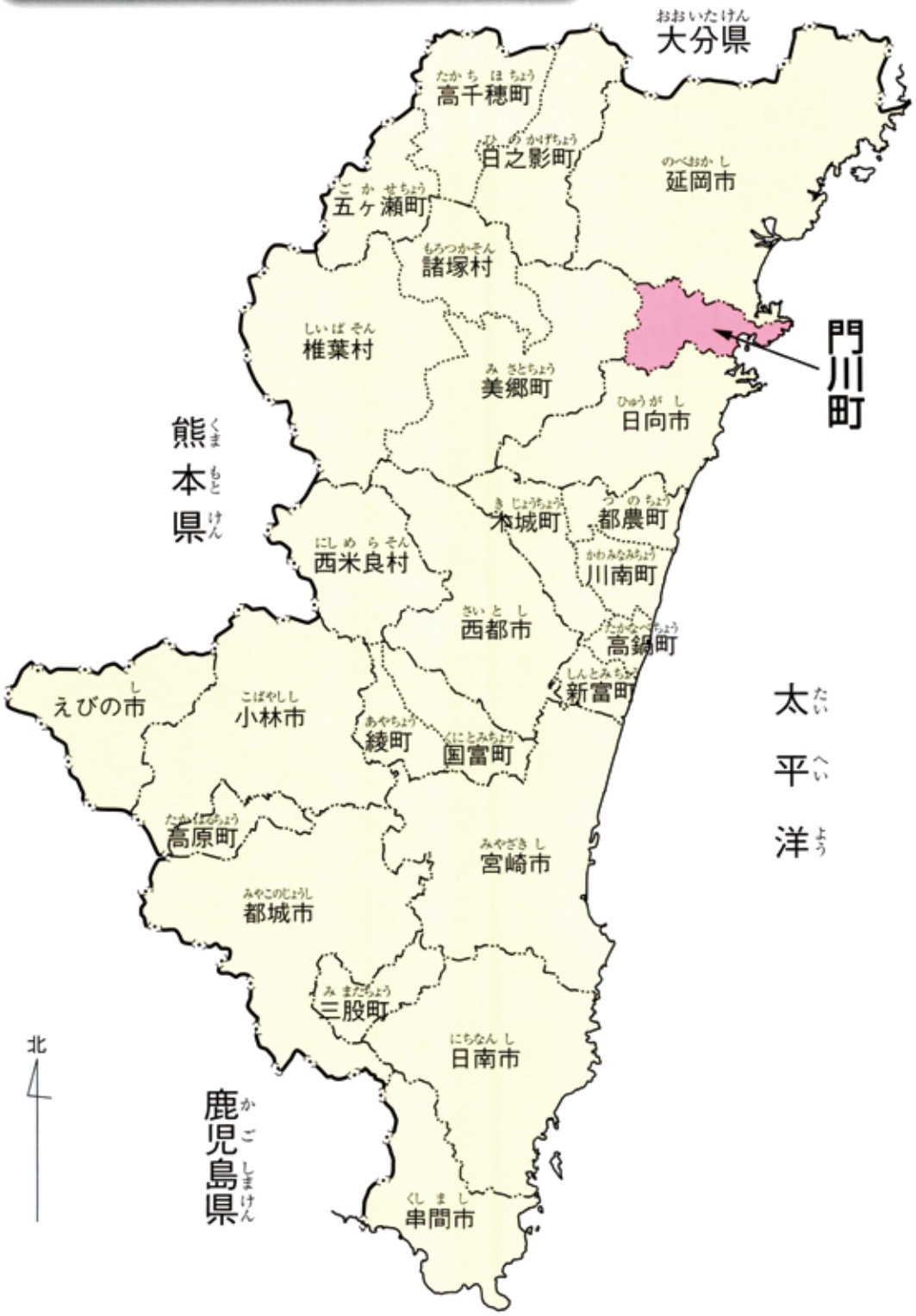
2．工事をした人びとの気持ち

郷土のあゆみ（門川町のおもな年表）

年		ことがら
明治時代	1753	小園井ぜきができた。
	1830ごろ	中村用水ができた。
	1868	尾末・川内・加草・庵川をあわせて門川組といっていた。
	（明治元）	
	1874	門川小学校のもとになる学校が，土橋の法泉寺で，始まった。
	（明治７）	
	1875	西門川小学校のもとになる学校が、上井野の勝蓮寺で、始まった。
	（明治８）	
	1879	加草と庵川がいっしょになって加草村、尾末と川内がいっしょになって門川
	（明治12）	尾末村ができた。
	1883	宮崎県ができた。
	（明治16）	
	1884	加草村と門川尾末村がいっしょになって、門川尾末村になった。
	（明治17）	
	1888	門川小学校ができた。
	（明治21）	
	1889	門川村になり、村役場ができた。
	（明治22）	
	1890	川内小学校ができた。（昭和35年に西門川小学校となる）
	（明治23）	
	1896	川内小学校松瀬分校ができた。（のちの西門川小学校松瀬分校）
	（明治29）	
	1901	門川ゆうびん局ができた。
	（明治34）	
	1907	草川小学校ができた。
	（明治40）	
	1911	門川に電とうがついた。
	（明治44）	
大正時代	1920	バスが通るようになった。（高鍋－延岡）
	（大正９）	
	1922	延岡に旭化成工場ができた。
	（大正11）	門川駅・日豊本線ができて、汽車が通るようになった。
	1924	門川－宇納間の間を西田バスが通り始めた。
	（大正13）	
	1933	西門川ゆうびん局ができた。
	（昭和８）	

年		こ と が ら
昭和時代	1935 (昭和10)	門川町になった。(このころ、町の人口はおよそ 11,700 人)
	1947 (昭和22) 1948 (昭和23) 1951 (昭和26) 1952 (昭和27) 1955 (昭和30) 1958 (昭和33) 1960 (昭和35) 1962 (昭和37) 1964 (昭和39) 1964 (昭和39) 1966 (昭和41) 1968 (昭和43) 1970 (昭和45) 1971 (昭和46) 1972 (昭和47) 1973 (昭和48) 1974 (昭和49) 	草川ゆうびん局ができた。 門川中学校ができた。門川中学校川内分校 (のちの西門川中学校) ができた。 門川農業協同組合・西門川農業協同組合ができた。 10年の計画で、門川湾をよくする工事が始まった。 小園井ぜきが、コンクリートのアーチ式いぜきにつくりなおされた。 門川中学校川内分校が西門川中学校となる。 町の簡易水道ができた。 町章 (町をあらわす記号) が決められた。 海岸通りの道ができた。 草川小学校が現在地に移転した。 国道10号ができた。(道はば10メートル) 門川農業高校ができた。 日向・延岡地区 (2市2町4村) が新産業都市になった。 中央公民館ができた。 役場が鉄筋づくりの新しい建物になった。 町の旗がきめられた。 町の上水道ができた。 草川小学校に鉄筋校舎ができた。 町の老人福祉館ができた。 西門川小学校が鉄筋校舎になった。 防災ダムができた。(中村) 西門川児童館ができた。 門川小学校体育館ができた。 草川小学校体育館ができた。 コミュニティーセンターができた。

年		こ と が ら
昭和時代	1975（昭和50）	西門川小・中学校体育館ができた。
		草川小学校に簡易プールができた。
		門川小学校北校舎が鉄筋校舎になった。
	1976（昭和51）	武道館ができた。
	1977（昭和52）	門川小学校に、鉄筋コンクリート造りのプールができた。
	1978（昭和53）	松瀬橋が永久橋にかわった。
		清掃工場ができた。
		宮ヶ原教育集会所ができた。
	1979（昭和54）	門川町衛生センターができた。
	1984（昭和59）	五十鈴小学校ができた。
	1986（昭和61）	西門川小学校にプールができた。
	1987（昭和62）	門川町勤労者体育センターができた。
	1988（昭和63）	草川小学校南校舎が鉄筋校舎になった。
平成時代	1989（平成元）	西門川小学校図書室が新しくなった。運動場がグリーンサンドになった。
	1990（平成２）	門川町文化会館、門川町勤労者総合福祉センターができた。
	1993（平成５）	総合福祉センターができた。
	1996（平成８）	門川海浜総合公園ができた。
	1997（平成９）	門川小学校が新しい校舎になった。
	1998（平成10）	かどかわ温泉心の杜ができた。
	1999（平成11）	西門川小学校松瀬分校が休校になった。
	2000（平成12）	西門川地区活性化センターができた。
	2001（平成13）	門川小学校創立 100 周年記念式典を行った。
	2002（平成14）	門川町立図書館ができた。

年		こ と が ら
平成時代	2006 (平成18)	西門川小学校松瀬分校が廃校になった。
	2007 (平成19)	草川小学校創立100周年記念式典を行った。
	2010 (平成22)	子育て応援サイト門川っ子育てステーションを開始した。
	2012 (平成24)	門川町庁舎南別館が開かれた。
	2013 (平成25)	門川小学校と草川小学校に屋上避難場所ができた。
	2015 (平成27)	門川町制施行80周年記念式典が開かれた。
令和時代	2020 (令和２)	西門川小・中学校が閉校になった。
	2021 (令和３)	門川町役場が新しく建てかわった。
	2025 (令和７)	門川町制施行90周年記念式典が開かれた。

わたしたちのまち門川町